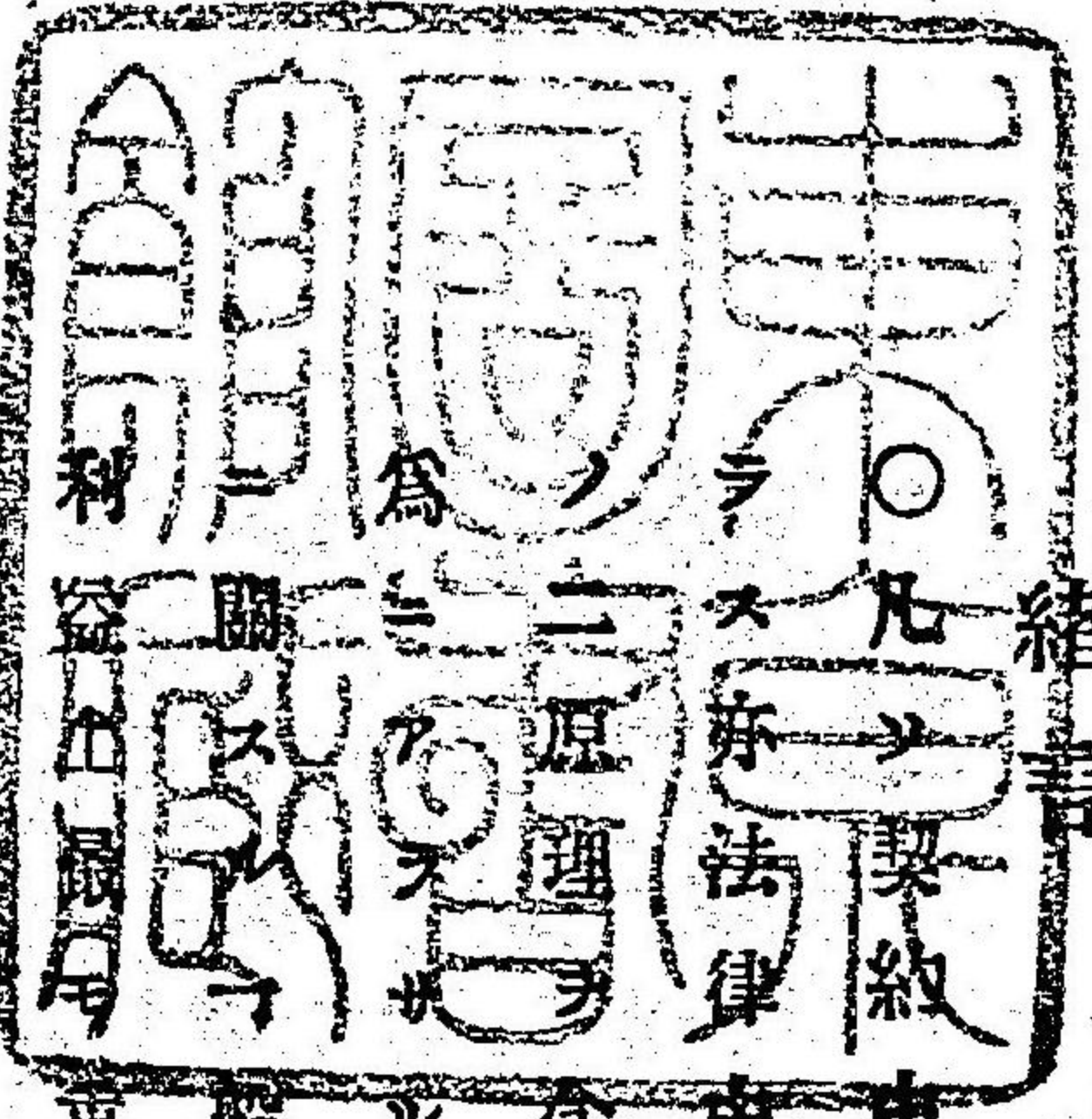


2039/24

賣買法要論

堀田正忠

著



緒言

中賣買ノ者タル實際其要殊ニ大ナルノミナ
 ラス法律中最大原則即チ物上權對人權
 含蓄スルモノナレハ之ヲ論究スル亦決シ徒
 ルナリ現ニ佛國ノ若キハ其民法ニ於テ契約
 一般ノ法則ヲ定メタル後特別ノ契約中公私ノ
 重要ナル婚姻契約ノ法則ヲ定メ亞テ賣買契
 約ノ法則ヲ定メタリ亦以テ其緊要ナルヲ知ルヘシ

○佛民法ニ於テハ賣買ノ卷チ八章ニ別チ第一章ニ賣買ノ
 性質及ヒ其法式ヲ定メ第二章ニ賣買ヲ爲スヲ得ヘキ人

○緒言

一

ヲ定メ第三章ニ賣買スルヲ得ヘキ物件ヲ定メ第四章ニ賣主ノ義務ヲ定メ第五章ニ買主ノ義務ヲ定メ第六章ニ賣買ノ無効及ヒ其解除ヲ定メ第七章ニ不可分物ノ繼賣ヲ定メ第八章ニ債主權其他權利ノ移轉ヲ定メタリ此順序タル深ク非難スヘキナシト雖モ余ハ偏ヘニ佛法ヲ講スルニアラスヤテ專ラ賣買法ノ原理ヲ論スルモノナレハ茲ニ左ノ順序ニ依ラントス是レ「マルカデ」氏民法講說約論ニ收用スル所ナリ

第一編 賣買ノ性質及ヒ其要件ヲ論ス

第二編 賣買ノ種類ヲ論ス

第三編 賣買ニ因テ生スル權利義務ヲ論ス

第四編 債主權其他權利ノ賣買ヲ論ス

○ 第一編 賣買ノ性質及ヒ其要件ヲ論ス

第一章 賣買ノ性質ヲ論ス

○賣買トハ何ソヤ双務ノ契約ナリ是レ乃チ買主ニハ爲メニ代價ヲ拂フノ義務ヲ生シ賣主ニハ爲メニ物件ヲ引渡スノ義務ヲ生スル所ノモノニシテ此義務タル法律上ノ繫鎖ナリ

○賣買契約ノ締約者双方ノ者ニ義務ヲ生スルコトハ古今万国其揆チ一ニシ何レノ時何レノ地ニ論ナク物ヲ買ヒテ代價ヲ拂フニ及ハサルノ理ナク又物ヲ賣リテ之ヲ引渡スニ及ハサルノ理ナキナリ然ルニ茲ニ一ノ問題アリ賣買契約ハ買主ニ在リテハ所有權ヲ獲得スルノ一原因ナリヤ否之ヲ詳言スレハ賣買ノ契約成ルヤ物件ノ引渡

○賣買ノ性質ヲ論ス

ナシト雖モ其所有權ハ直チニ買主ニ移轉スルモノナリ
 ヤ將タ其引渡アラサル前ハ買主單ニ債主權ヲ有スルニ
 止マリ所有權ハ未ダ移轉セサルモノナリヤノ点是レナ
 リ今此点ヲ論セント欲セハ宜ク先ツ確定物未確定物ノ
 區別ヲ一言セサルヘカラス

○確定物トハ特ニ指定シタル物件ヲ謂ヒ未確定物トハ
 特ニ指定セス後ニ度量シテ始メテ確定スル物件ヲ謂フ
 未確定物トハ例ヘハ米何升布何尺ト謂フカ如キモノニ
 シテ道理上到底引渡ノ後ニアラサレハ所有權ノ移轉ス
 ヘキモノニアラス是レ此種ノ物件ハ世間其類多キカ故
 ニ買主カ有スヘキ所有權ハ果シテ何レノ物件ニ坐スルヤ
 豫メ知ルヘカラサレハナリ今假ニ之ヲシテ直チニ所有

權ノ移轉スルモノトセシテ其弊敢テ數フヘカラス請フ
 後ニ至テ之ヲ辨セン之ニ反シ確定物ハ特ニ指定シタル
 モノナルカ故ニ買主契約ニ因リ直チニ所有權ヲ得ルモ
 ノト定ムル亦實際上能ハサルニアラサレハ此場合ニ就
 テ所有權ハ契約ニ因リ直チニ移轉スルモノト定ムルノ
 法理ナル乎將タ引渡ヲ待テ始メテ其移轉スルモノト定
 ムルノ法理ナル乎ヲ論究セサルヘカラス

○佛民法第千百三十八條ニ「物ヲ引渡スノ義務ハ契約者
 ノ承諾ノミヲ以テ完全ノモノトス其義務ハ債主ヲシテ
 所有主タラシメ且其物ノ引渡ヲ爲サスト雖モ之ヲ引渡
 サ、ルヲ得サルニ至リシ時ヨリ其物ヲ債主ノ危険ニ附
 スルモノトス但負債主其物ノ引渡ヲ遲滞シタルキハ格

別ニシテ此場合ニ於テハ其物ハ負債主ノ危儉ニ止ルモノトス」トノ原則ヲ定メ第千五百八十三條ニ賣買ニ關シテ「物件ト代價トヲ約束シタルハ未タ其物ヲ引渡サス又其代價ヲ辨濟セスト雖モ賣買ハ双方ノ者ノ間ニ於テハ完全ニシテ所有權ハ賣主ニ對シテ當然買主ニ獲得セラル、モノトス」ト定メタリ然レモ此点ニ至テハ各國其揆ナ一ニセス佛國ニ於テモ亦民法施行前ハ羅馬法ニ則リ引渡ヲ待テ始メテ所有權移轉スルノ習慣ナリキ吾カ現時ノ習慣タル一定セスト雖モ多クハ羅馬法ト其揆ナ一ニスルモノナリ而シテ此問題タル其關係スル所極メテ重大ナレハ先ツ其因テ生スル所ノ結果ノ異同ヲ一言シ然ル後之ヲ論究スヘシ

○所有權ハ賣買契約ニ因リ直チニ移轉スルモノニアラストセハ甲者乙者ト賣買ノ契約ヲ結ビ其後更ニ丙者ト賣買ノ契約ヲ結ビ其物件ヲ丙者ニ引渡シタルハ則チ其所有權ハ丙者ニ移リ乙者ハ甲者ニ對シテ唯其損害ノ價ヲ要求スルノ外更ニ途ナシト雖モ若シ所有權直チニ移轉スルモノトセハ乙者其所有權ヲ得丙者ハ唯其損害ノ價ヲ要求スルノ外ナキナリ(丙者即時期滿效ヲ得タルハ此限ニ在ラス)

又所有權直チニ移轉セサルモノトセハ賣主物件引渡前ニ無資力ト爲リ身代限ノ處分ヲ受ケタルハ買主ニ先取ノ特權ナク尋常ノ債主ト共ニ賣主ノ財産ヲ平分スルノ外ナシト雖モ若シ所有權直チニ移轉スルモノトセハ

○賣買ノ性質ヲ論ス

買主既ニ所有權ヲ得タルヲ以テ先取ノ特權ヲ有スヘキナリ

右ハ唯其重ナルモノ、ミ尙ホ他ニ結果ノ相異ナル所少カラスト雖モ茲ニ之ヲ略ス

○余思フニ賣買契約アルモ物件引渡前ハ所有權未ダ移轉セスト爲スハ物是レ財産ナリト爲スノ説ニ基クモノニシテ深ク尤ムヘキニアラスト雖モ既ニ權利是レ財産ナリトノ説ヲ發見シタル以上ハ所有權直チニ移轉スルモノト爲サ、ルヘカラス是レ所有權ハ元ト無形ノモノニシテ双方相約シテ賣買ヲ爲スヤ買主ハ直チニ之ヲ得ヘク物件引渡ハ唯其所有權ノ坐スル所ノ目的物ヲ引渡スニ過キサレハナリ

○佛民法第千五百八十三條ニハ所有權移轉ノ效タル單ニ賣主買主ノ間ニ存スルモノニシテ之ヲ衆人ニ及ホスヲ得ストアリ世人多クハ之ヲ是トシテ敢テ非難セスト雖モ余ハ之レカ反對ノ説ヲ持スル者ナリ抑所有權ハ一ノ物上權ニシテ獨自永遠ニ物上ニ行フヘキ無限ノ權利ナレハ買主契約ニ因テ所有權ヲ得ルヤ何人ニ對スルモ之ヲ對抗スルヲ得ヘク單リ其效ヲ賣主買主ノ間ニ止ムルノ理アラサルナリ
或ハ曰ハソ佛民法第千四百四十一條ニ「相續テ二人ニ所有權ヲ移シ又ハ引渡スノ義務ヲ己レニ負ヒタル物件純粹ナル動物ナルトハ右二人中ニテ其物件ノ現實ノ占有ヲ得タル者ハ縱ヒ其權原ノ日附ノ後レタルト雖モ選取

○賣買ノ性質ヲ論ス

セラレテ其物件ノ所有主タルヘシトアリ又登記法ニ不
 動物賣買ノ場合ニ於テハ最初ニ登記シタル買主ヲ以テ
 其所有主ナリト定メタリ是レ寔ニ能ク其理ニ適スルモ
 ノナレハ所有權移轉ノ效ハ尋常賣主ト買主トノ間ニ止
 マルモノト決セサルヘカラスト曰ク動物ノ占有法不動
 物ノ登記法ハ余モ亦之ヲ非難セスト雖モ之ヲ以テ直チ
 ニ所有權移轉ノ效ヲ衆人ニ及ホステ得スト爲スハ蓋シ
 皮相ノ見ノミ請フ左ニ之ヲ辨セシ

○佛民法第千四百四十一條ハ文字其當ヲ得スト雖モ其法
 意タル第二千二百七十九條ヲ契約ノ場合ニ適用シタル
 ニ外ナラス即チ動物ノ賣買ハ概チ急速ヲ要スルノミナ
 ラス其流通頻繁ナルカ故ニ買主ニ於テ一々其根原ヲ尋

糺セサルヲ得スト爲スルハ大ニ流通ヲ妨ケ一國經濟ノ
 途ニ反スル少カラサレハ買主物件ヲ占有スルヤ直ニ期
 滿效ヲ得復タ他人ニ取去ラル、ノ憂ナカラシムルモノ
 ニシテ初次ノ買主ハ契約ニ因リ所有權ヲ得再次ノ買主
 ハ占領ニ因リ直チニ期滿效ヲ得ルモノナリ之ヲ以テ初
 次ノ買主ハ單ニ賣主ニ對シテ所有權ヲ得ルニ止マルモ
 ノト謂フヘカラス尙ホ此点ヲ明カニセント欲セハ再次
 ノ買主賣主ニ於テ既ニ或ル物件ヲ賣リタルコトヲ知テ之
 ヲ買ヒ其引渡ヲ得タル場合ニ就テ考フルヲ捷徑ト爲ス
 期滿效ニハ善意ノ占有ヲ要スルカ故ニ再次ノ買主其物
 件既ニ他人ノ買フ所タルヲ知テ而シテ其引渡ヲ受ケタル
 并ハ期滿效ヲ得ス從テ其物件ノ所有權ヲ得ヘカラス故

ニ此場合ニ於テハ所有權移轉ノ效タル初次ノ買主ト賣主トノ間ニ存スルノミナラス再次ノ買主ニモ亦其效ヲ及ホスモノナリ今此場合ニ於テ或者ハ所有權移轉ノ效タル賣主ト初次ノ買主トノ間ニ止マレリト爲ス乎必スヤ然ラサラン果ソ然ラハ再次ノ買主引渡ニ因テ所有權ヲ得ルハ期滿效ニ因リ初次ノ買主ノ既ニ得タル所有權ヲ得ルモノニシテ初次ノ買主ハ衆人ニ對シテ所有權ヲ得タルモ期滿效ニ因リ之ヲ失ヒタルニ外ナラサルナリ加之初次ノ買主ト再次ノ買主トノ關係ヲ問キ他ノ者トノ關係ヲ見ルキハ此点愈々明カナリ例ヘハ甲者乙者ニ其動物ヲ賣却シ未タ物件ノ引渡ヲ爲サ、ル前丙者故テニ之ヲ毀壞シ又ハ之ヲ奪取シタルキハ何人ト雖モ丙者

ハ乙者ノ所有物ヲ毀壞シ若クハ奪取シタリト曰ハソ是レ所有權移轉ノ效ハ賣主買主ノ間ニ止マラサルヲ證スルモノナリ

○不動物ノ登記ハ其趣少ク異ナリト雖モ或者ノ説誤レルノ点ニ至テハ全く同一ナリ抑登記法ノ者タル誤テ賣主ノ所有ニ屬セサル物件ヲ買入ル、等ノ憂ヲ防カンカ爲メ設ケタル一ノ保護法ニシテ此法ヤ實ニ嘉ミスヘシト雖モ之ヲ以テ未タ登記セサル買主ハ單ニ賣主ニ對シテ其所有權ヲ得タルニ止マルモノト謂フヘカラス是レ第三者ニアラサル者ニ對シテハ充分ニ其效アルノミナラス第三者ト雖モ未タ登記ヲ爲サ、ル者又ハ初次ノ買主アルヲ知テ而シテ最初ニ登記シタル者ハ決シ其所有權

○賣買ノ性質ヲ論ス

ヲ得ヘカラサルニ因テ明カナリ

○右ノ如ク賣買契約ハ所有權ヲ移轉シ而シテ其移轉ノ效
 タル完全ノモノナリト雖モ社會ノ流通ヲ容易ニシ一國
 ノ經濟ヲ確保センカ爲メ即時期滿效ナルモノヲ設ケ又
 詭欺ヲ豫防シ買主等ヲ保護センカ爲メ登記法ヲ設ルハ
 余ノ最モ同意ヲ表スル所ナリ其期滿效ノ事ハ本書ノ主
 旨ニアラサレハ之ヲ畧スト雖モ登記法ハ本年第一號法
 律トシテ公布セラレタルモノニシテ正文少ク不明ニ屬
 スルモノアレハ左ニ聊カ本件ニ關スル正條ヲ論スヘシ
 ○登記法第六條ニ曰ク「登記簿ニ登記ヲ爲サ、ル地所建物
 船舶ノ賣買讓與質入書入ハ第三者ニ對シ法律上其效ナ
 キモノトス」ト立法官茲ニ第三者ノ語ヲ記入シタルニ由

テ之ヲ觀レハ買主等登記簿ニ登記ヲ爲サ、ルキハ賣主
 ノ代權者ニアラスシテ其契約ニ利害ノ關係ヲ有スル者
 ニ對シテノミ其效ナキ旨ヲ定メルタニ過キサルノ法意
 ナルヤ明カナリ然レモ第三者亦登記ヲ爲シタルトテ要
 スルヤ否又第三者善意ナルトテ要スルヤ否ノ点ニ至テ
 ハ之レカ明文ナキヲ以テ道理上宜シク之ヲ決セサルヘ
 カラス

賣買契約ハ直チニ所有權ヲ移轉スルノ效アルモノニシ
 テ登記法ハ第三者ヲ保護スルニ出テタル一ノ變例ナレ
 ハ第三者自ラ登記ヲ爲シタルキハ買主等之ニ對抗スル
 ヲ得スト雖モ若シ第三者登記ヲ爲サ、ルキハ初次ノ獲
 得者ハ第三者ニ對抗スルヲ得ヘシ是レ双方共ニ登記ヲ

○賣買ノ性質ヲ論ス

爲サ、ルキハ法律ノ保護必スシモ關係上ノ平等ニ依ラサルヘカラス今之ニ依ラシテ乎未タ何人モ買得セサル物件ヲ買取シタル者ニ其所有權ヲ得セシメサルヘカラサレハナリ此点ヤ最モ明了ニシテ一人ノ之ヲ非議スル者ナカルヘシ夫レ然リ故ニ不動物ニ關シテモ亦賣買契約ハ直チニ所有權ヲ移轉シ而シテ其效タル衆人ニ對シテ存スルモノナルヤ明カナリ

又登記法ハ人ヲシテ所有權ノ移轉シタルヲ知ラシムルノ方法ナレハ第三者他人既ニ或ル物ヲ買ヒタルヲ知リタルキハ道理上己レ之ヲ買フヘキモノニアラス然ルニ其之ヲ知テ而シテ買ヒタルハ他人ノ失誤ヲ奇貨トシテ自己ノ利益ヲ計ルモノナレハ法律固ヨリ之ヲ保護ス

ルニ及ハス故ニ未タ登記ヲ爲サ、ルモ善意ナラサル第三者ニ對シテハ所有權移轉ノ効アルモノナリ

或ハ曰ク吾カ登記法ニハ右ノ如キ明文ナシ故ニ此ノ如キ制限ヲ付スヘカラスト非ナリ吾カ法律ニ第三者登記ヲ爲サ、ルモ初次ノ買主之ニ其効ヲ及ホスヲ得スト爲ス乎誰レカ此ノ如キ不理ノ言ヲ容レシヤ果シテ然ラハ第三者ニ善意ヲ要スルノ点亦明文ナキヲ以テ直チニ之ヲ排斥スルヲ得サルナリ試ニ見ヨ第三者賣主ト共謀シ初次ノ買主ノ未タ登記セサル以前ニ登記ヲ爲シタルキ又ハ第三者詭計ヲ用ヒ初次ノ買主ノ登記ヲ妨ク己レ最先ニ之ヲ爲シタルキハ如何何人ト雖モ少ク道理心ヲ有スル者ハ必スヤ初次ノ買主ヲ保護スヘクシテ第三者ニ其

所有權ヲ得セシムヘカラスト曰ハシテ況ヤ登記法ハ一ノ
變則ニシテ純理ニ基クモノニアラサレハ法ニ反對ヲ明
定セサル限りハ可及的正則ニ復セシムヘキカ故ニ法ニ
第三者善意ナルヲ要スルノ明文ナシト雖モ道理上此
点ヲ補成セサルヘカラサルナリ

○要スルニ賣買契約トハ賣主買主ニ義務ヲ生スル所ノ
双務契約ニシテ其確定物ヲ目的ト爲スルハ尙ホ所有權
直ニ移轉シ買主ハ登記法ニ定メタル例外ヲ除クノ外
第三者ニ對スルモ亦其所有權ヲ有スルモノナリ

第二章 賣買契約ノ成立及ヒ其効力ニ必要ナル 條件ヲ論ス

○凡ソ契約ノ條件ニ三種アリ曰ク須要ノモノ曰ク當然
ノモノ曰ク偶々ノモノ是レナリ須要ノ條件トハ契約ノ
成立上又ハ其効力上必然欠クヘカラサルモノニシテ此
條件ヲ欠クキハ双方ノ意思如何ニ抱ハラス其契約或ハ
成立セス或ハ其効力ヲ失フモノナリ又當然ノ條件トハ
性質上契約ニ附從シ結約者特ニ之ヲ明言セスト雖モ自
ラ存スルモノニシテ其須要ナル條件ト異ナル所ハ彼レ
ハ双方ノ意思ヲ以テスルモ之ヲ左右スルヲ得スト雖モ
此レハ双方ノ意思ヲ以テ之ヲ左右スルヲ得ルモノナリ
又偶生ノ條件トハ性質上契約ニ附從スルヲナキモ亦公
益ノ之ヲ禁スルヲナク双方ノ意思ヲ以テ設定スルヲ得
ルモノナリ

○賣買ノ要件ヲ論ス

當然ノ條件及ヒ偶生ノ條件ハ他日ニ讓リ茲ニハ唯其須
要ノ條件ヲ論スヘシ須要ノ條件ニ普通ノモノト特別ノ
モノトノニアリ普通ノモノトハ一切ノ契約ニ欠クヘカ
ラサルモノニシテ特別ノモノトハ或ル種ノ契約ニ特殊
ノモノナリ

普通ノ須要ノ條件トハ何ソヤ契約ノ成立ニ必要ナルモ
ノニアリ曰ク契約者又ハ其代理人ノ承諾曰ク確定ニシ
テ双方ノ處分シ得ヘキ目的物曰ク眞實ニシテ適法ナル
原因是レナリ又其効力ニ必要ナルモノニアリ曰ク承諾
ニ瑕疵ナキ曰ク双方能力ヲ有スルト是レナリ賣買契
約ハ有式契約ニアラス實行契約ニアラス故ニ此一般ノ
須要元素ヲ具備スルヲ以テ既ニ充分ナリトス〔損失ナキ

ヲテ以テ賣買契約ノ効力ニ必要ナル條件ト爲スモ此條
件タル純理上ハ一切ノ有償契約ニ普通ノモノニシテ成
法上ハ或ル契約ニ特別ノモノタルヘキカ故茲ニ之ヲ言
ハス能力ヲ論シタル後之ヲ詳説スヘシ〕請フ承諾目的原
因ノ三者ニ別テ此点ヲ論スヘシ〔契約ノ効力ニ必要ナル
條件ハ承諾ノ節ニ於テ論スヘシ〕

第一節 承諾ヲ論ス

○承諾トハ結約者双方ノ意思ノ合同ナリ之ヲ詳説スレ
ハ一方ニ於テ喚諾即チ賣ルト云ヒ他ノ一方ニ於テ應諾
即チ買フト云ヒタルキニ存スルモノナリ而シテ此喚諾ト
應諾トハ一切ノ点ニ付キ全ク合同スルニアラサレハ法

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

律上承諾アリトセス例へハ甲者乙者ニ對シテ某物ヲ賣ルト云ヒタル場合ニ丙者之ヲ買フト云ヒタル其契約ノ成立セサルハ勿論甲者乙丙丁ノ三者ニ對シ喚諾ヲ爲シ乙丙ノ二者ノミ應諾ヲ爲シタル其亦其契約全ク成立セサルナリ是レ其人ニ關シテ双方意思ノ合同アラサレハナリ然レ此第二ノ場合ニ於テハ喚諾ノ仕様契約ノ性質其目的結約者ノ趣意其他種々ノ情況ニ依リ各別ノ應諾ヲ聽許シタルモノナルヲ明カナル其契約ハ應諾ヲ爲シタル者ニ對シテ成立スルモノトス

右ノ外契約ノ性質及ヒ其目的物ニ付キ結約者ノ意思全ク合同スルニアラサレハ其契約成立セス例へハ米賣買ノ喚諾ヲ爲シタルニ麥賣買ノ應諾ヲ爲シ又ハ賣買ノ喚諾

ヲ爲シタルニ交換ノ應諾ヲ爲シタル其ノ類是レナリ然レ其目的物ノ点ニ付テハ少ク論スヘキモノアリ例へハ甲者ニ於テ百個ノ物品ヲ賣ラント發言シ乙者ハ五十個ヲ買フト承諾シタル其又ハ乙者ニ於テ百個ノ物品ヲ買ハント請ヒ甲者ハ五十個ヲ賣ルヘシト承諾シタル其其契約成立セサルヲ以テ一般ノ法則ト爲セテ双方ニ於テ利用上需用上毫末モ支障ナキヲ明了ナル其ハ五十個ニ付キ契約成立シタリト爲スヘキナリ

○右承諾ノ何者タルヲ一言シタリ是レヨリ承諾發表ノ方法及ヒ其成立ノ時期如何ヲ論スヘシ

○佛民法第一千五百八十二條第二項ニ「賣買ハ公正ノ證書又ハ私ノ證書ヲ以テ之ヲ爲スヲ得ヘシ」トアルカ故ニ賣

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

買契約即チ其承諾ハ證書ヲ以テスヘキノ觀ヲ呈スルカ
 如キモ個ハ是レ證據法ヲ示スモノニシテ承諾發表ノ方
 法ヲ謂フモノニアラス書面ヲ以テスルト口頭ヲ以テス
 ルト形容ヲ以テスルトニ論ナク明白ニ承諾シタルハ
 勿論暗黙ニ承諾シタルハ亦其契約成立スルモノナリ是
 レ承諾トハ締約者双方ノ意思ノ合同ニ外ナラサレハ其
 方法ヲ制限スルノ理アラサレハナリ
 暗黙ニ承諾スルトハ例ヘハ甲者ヨリ乙者ニ或ル物件ヲ
 買ハントシテ其代金ヲ送付シタルニ乙者ニ於テ明カニ
 應諾ヲ爲サ、ルモ其物件ヲ甲者ニ送付シタルハノ類ニ
 シテ單リ事實上承諾ノ存立ヲ推測シ得ヘキモノナリ或
 ハ單純ナル緘黙ヲ以テ暗黙ナル承諾ノ中ニ列スルモ是

レ全ク其理ニ反スルモノト謂フヘシ緘黙或ル事實ヲ伴ヒ
 因テ以テ其承諾ノ存立ヲ推測スヘキハ格別單純ナル緘
 黙ノミチ以テ承諾アリタルモノト爲スヘカラサルナリ
 若シ或期限内拒絕セサルハ承諾アリタルモノト看做
 スノ特約アルハ此限ニ在ラス然レモ是レ此特約ノ致
 ス所ニシテ緘黙其者ノ致ス所ニアラサルナリ
 ○然ラハ承諾成立ノ時期即チ双方意思ノ合同スル時期
 如何承諾ハ一人喚諾ヲ爲シ他ノ一人應諾ヲ爲シタルハニ
 成立スルモノニシテ此点ニ付テハ別ニ難事ナキニ似タ
 リト雖モ是レ唯双方面ノアタリ協議シタルハノミ遠路
 相互ニ信書ヲ以テ契約ヲ爲スニ際シテハ何レノ時ニ承
 諾成立シタルモノナリヤノ点頗ル疑訝ニ属シ諸學者ノ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ノ論ス

說今日ニ至ルマテ未タ一定セス例ヘハ甲者其所有ノ書
 籍ヲ賣ラントシテ書ヲ他邦ニ在ル乙者ニ寄セテ之ヲ買
 ハサルヤ否ヲ問合セタリ此時ニ當リテハ喚諾アリタル
 ノミニテ承諾未タ成立セサルヤ明カナリト雖モ乙者ニ
 於テ買フヘシトノ回答ヲ認メ之ヲ送リタルトハ如何承
 諾ハ其回答ヲ認メタル日ニ成ル手將タ之ヲ發付シタル
 日ニ成ル手抑亦甲者ノ之ヲ落手シタル日ニ成ル手乙者
 ニ於テ買フヘシトノ回答ヲ認メタリト雖モ之ヲ發付ス
 ル以前ハ其意ヲ變スルヤモ知ルヘカラサルカ故ニ回答
 ヲ認メタル日ニ成立スルトノ說ヲ主唱スル者ハ多カラ
 スト雖モ發付ノ日ニ成立スルトノ說及ヒ到達ノ日ニ成
 立スルトノ說ハ兩立シテ盛ニ行ハル、モノナリ吾カ師

「ボソソナード」氏ノ若キ亦大審院ニ於テ佛國賣買篇ヲ講
 スルニ當リ到達ノ日ヲ以テ承諾成立スルトノ說ヲ主唱
 シ後吾カ邦民法草案ヲ編成スルニ當リ發付ノ日ニ成立
 スルトノ說ヲ採用シタリ「ボソソナード」氏カ民法草案ヲ編
 成スルニ當リ前說ヲ捨テ、後說ヲ取りタルハ必スヤ其
 據ロアルナルヘシト雖モ余ハ依然到達ノ日ヲ以テ承諾
 成立スルモノト爲スノ眞理ニ近キヲ信ス〔民法集解ニハ
 發付ノ日ヲ以テ承諾成立スルモノト說キタリ退テ考フ
 ルニ其理ニ反スルヲ覺ユ因テ茲ニ是正ス〕請フ左ニ之ヲ
 辨セン

○應諾ノ喚諾者ニ到達シタル日ニ承諾成立スル所以ヲ
 論明スル以前ニ何故ニ此点ヲ論スルノ必要ナルヤチ一言

セサルヘカラス喚諾ハ其日時ヲ經過スル久キニ亘リ事實上其消滅シタルヲ推知スヘキ場合及ヒ喚諾者死去シ若クハ其能力ヲ失ヒタル場合ヲ除クノ外消滅セサルルモノナレハ一旦喚諾ヲ爲スヤ承諾成立ノ時期ヲ設定スルノ要ナキニ似タリト雖モ喚諾ハ必スシモ之ヲ變更シ若クハ取消シ得ヘカラサルニアラサレハ此ノ如キ場合ニ際シテハ其承諾成立ノ時期ヲ定ムルヲ殊ニ緊要ナリ若シ其承諾成立以前ニ之ヲ取消シタラシテ取消ノ效力アリト雖モ其後ニ於テハ全ク其效アラサルナリ

○抑承諾ハ結約者双方ノ意思ノ合同ナリ故ニ一旦應諾ノ意思ヲ決シ其回答ヲ發付シタル以上ハ承諾成立スルカ如キモ其回答ノ未ダ喚諾人ニ到達セサル以前ハ其取消

ヲ通知スルヲ得ヘシ而シテ應諾ノ確定ハ喚諾人ノ之ヲ知リタル時ニ在レハ眞ニ承諾ノ成立シテ濫リニ之ヲ左右スヘカラサルニ至ルハ其應諾ノ喚諾人ニ到達シタル時ナリト謂ハサルヘカラス茲ニ最モ容易ナル一事ヲ舉ゲテ此点ヲ明カニスヘシ例ヘハ甲者乙者ニ某物ヲ賣ルヘシト言ヒ送り乙者之ヲ買フヘシトノ回答ヲ丙者ニ托シタリ然ル後其應諾ヲ取消サントシテ丙者ノ未ダ甲者ニ其回答ヲ傳ヘサル以前ニ電報ヲ以テ丙者ニ取消ノ旨ヲ通知セリ由テ丙者ニ於テ乙者カ其物品ヲ買フヲ爲サストノ言ヲ甲者ニ傳ヘタルキハ何人ト雖モ其承諾成立セスト曰ハン果シ然ラハ書信ヲ以テスル場合ト雖モ亦同一ニ決セサルヘカラサルナリ

○發買ノ要件ヲ論ス ○承諾ヲ論ス

右ノ如ク承諾ハ應諾ノ喚諾者ニ到達シタルキニ成立ス
ルモノナレハ若シ喚諾取消ノ通知ト應諾ノ通知ト途中
ニ於テ行違ヒタルキハ其到達ノ日時ヲ比較シ其前後ニ
因テ事ヲ決セサルヘカラサルナリ

第一款 承諾ノ瑕瑾ヲ論ス

○上來開説シタル如ク承諾ナキハ契約成立セサルハ
勿論縱令ヒ承諾アリト雖モ半點ノ瑕瑾アラソ乎以テ契
約ヲ完成スルヲナクシテ其結果或ハ契約ノ成立ヲ妨ケ
或ハ其效力ヲ損スルモノナリ蓋シ瑕瑾ニ二種アリ曰ク
錯誤曰ク畏懼是レナリ請フ左ニ之ヲ分説セン

第一條 錯誤ヲ論ス

○錯誤トハ何ソヤ眞實ノ裏面ナリ乃チ眞實トハ思想ノ
現象ト事物ト相符合スルノ謂ナレハ錯誤ハ則チ思想ノ
現象ト事物ト相齟齬スルノ謂ナリ
錯誤ヲ分テ二ト爲ス一ハ事實上ノ錯誤ニシテ一ハ法律
上ノ錯誤ナリ而シテ此錯誤ニ契約ノ成立ヲ妨クルモノト
其效力ヲ損スルモノトニアリ請フ逐次之ヲ辨セン
○事實上ノ錯誤 事實上ノ錯誤トハ契約ニ關スル實体
上ノ事實ヲ誤認スルノ謂ニシテ其數五アリ曰ク契約ノ
性質ニ係ル錯誤曰ク原因及ヒ其違因ニ係ル錯誤曰ク目
的物及ヒ其品質ニ係ル錯誤曰ク締約者其人ニ係ル錯誤
曰ク計算日附及ヒ場所ニ係ル錯誤是レナリ

○買賣ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

○契約ノ性質ニ係ル錯誤トハ一方ニテハ賣買ヲ爲シタリト信シタルニ他ノ一方ニテハ交換ヲ爲シタリト信シタルカ如キ類ヲ謂フ此場合ニ於テハ固ヨリ双方意思ノ合同アリト謂フヘカラス故ニ其契約ハ全ク成立セサルモノナリ

○原因ニ係ル錯誤トハ契約ノ直接ナル理由ヲ誤ルモノニシテ賣主ニ在テ代價ヲ得ントスルノ希望又買主ニ在テ物件ノ所有權ヲ得ントスルノ希望ハ其原因ナリ而シテ其原因タル人ヲシテ契約ヲ結フノ意ヲ決セシメタルモノナレハ若シ之ニ付キ錯誤アリタルキハ則チ承諾成立セス從テ其契約成立セサルナリ今如何ナル場合ニ原因ニ錯誤アリト爲ス乎實際多クハ目的物ノ錯誤ニ歸スル

モノニシテ例ヘハ賣買ノ場合ニ於テ其物件賣主ノ所有ニ屬セサルカ又ハ其物件ノ相違スルキノ若キ一面ヨリ之ヲ觀レハ目的物ナク又錯誤アルモノニシテ一面ヨリ之ヲ觀レハ原因ニ錯誤アルモノナリ

又遠因ニ係ル錯誤トハ契約ノ不直接ナル理由ヲ誤ルモノニシテ而シテ直接ナル理由ハ其數一ナリト雖モ不直接ナル理由ハ其數一ナラス其理由タル對手人ノ得テ知ルヘキ所ニアラス全ク結約者ノ心裡ニ存スルモノナレハ縱ヒ之ヲ錯誤シタルモ爲メニ對手人ヲシテ其影響ヲ被ラシムヘカラス故ニ遠因ノ錯誤ハ承諾ニ瑕疵ヲ與フルモノニアラサルナリ然レモ結約者特ニ其遠因ヲ指示シ契約ノ成否ヲ之ニ關セシメタルキ其他遠因ヲ以テ契約

者ノ意思上之ヲ原因ト看做ス場合ニ於テハ此限ニ在ラ
ス

○目的物ニ係ル錯誤トハ目的物ノ全体又ハ所爲ノ性質
ニ錯誤アルモノニシテ例ヘハ一方ニ於テハ甲印ノ家屋
ヲ賣却シタリト信シ他ノ一方ニ於テハ乙印ノ家屋ヲ買
取シタリト信シタルキノ類ニシテ其契約ノ全ク成立セ
サルヤ固ヨリ明カナリ

○品質ニ係ル錯誤トハ目的物ニ錯誤アラサルモ其品質
ニ錯誤アルヲ謂フモノニシテ此品質ニ主タルモノト從
タルモノトノ別アリ
品質ノ主徒ハ結約者ノ意思如何ニ關スルモノナリト雖
モ亦之レカ概定ノ推測ナキニアラス乃チ物質タルノ品

質ハ概チ主タルモノニシテ物質タラサル品質ハ概チ從
タルモノナリ何トナレハ物質ハ其物体ヲ特定スル所ノ
モノニシテ結約者ノ直接ニ目的ト爲シタルモノト看做
スヲ得ヘキモ物質タラサル品質ハ縱ヒ之ヲ異ニスルモ
其物件ヲ異ニスルトナシ故ニ若シ之ヲ誤ルモ其物件名
稱同一ニシテ結約者ノ特ニ之ヲ主ト爲スノ意ヲ表シタ
ルキハ格別此ノ如キハ一ノ遠因ニシテ主タルモノニア
ラサルナリ
右從タル品質ニ錯誤アルキハ恰モ遠因ニ錯誤アルキト
同ク其契約ニ瑕疵ヲ生セスト雖モ主タル物質ニ錯誤ア
ルキハ或ハ其契約ノ成立ヲ妨ク或ハ其契約ノ效力ヲ損
ス請フ左ニ之ヲ辨セン

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

主タル品質ハ結約ノ原因タルヤ固ヨリ明カナリト雖モ之レカ唯一ノ原因タルヲアリ又其原因中ノ一ニ位スルヲアリ之レカ唯一ノ原因タルト結約者之ヲ錯誤スルニ於テハ其契約決テ成立スヘカラス然レモ若シ其原因中ノ一ニ位スルニ過キサレハ之ヲ錯誤スルモ唯其契約ヲ取消シ得ルニ止マリ其成立ヲ妨クルヲナシ是レ一ハ承諾ヲ排除スルモノニシテ一ハ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスモノナレハナリ

○結約者其人ニ係ル錯誤トハ甲者ハ乙者ト賣買契約ヲ爲シタリト信シタルニ丙者ハ甲者ト其契約ヲ爲シタリト信シタルト如ク結約者其人ヲ錯誤スルモノニシテ此錯誤タル其人ノ契約ニ有スル關係ノ輕重ニ因リ其結

果相同シカラス乃チ結約者其人ヲ以テ契約唯一ノ原因ト爲シタルトハ此錯誤契約ノ成立ヲ妨ケ其結約ノ一原因タルモ他ニ之レカ原因アリテ唯一ノ原因ニアラサルトハ其契約ノ效力ヲ損ス又其結約ノ原因タラサルトハ全ク契約ニ影響ヲ及ホサルモノナリ

賣買契約ニ在テハ結約者其人ヲ以テ結約唯一ノ原因ト爲スノ實際殆ト稀ナリ然レモ原因中ノ一ニ位スルトハ其例少カラス掛賣買ノ類是レナリ

○計算日附及ヒ場所ニ係ル錯誤ハ多クハ契約ノ證書中ニ存スルモノニシテ契約ノ本体ニ瑕疵ヲ與フルヲナキナリ

右ノ如ク承諾ニ錯誤アルトハ其契約或ハ成立セス或ハ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

其效力ヲ損スト雖モ人自ラ錯誤ヲ招キ爲メニ對手人ニ
損害ヲ被ラシメタルハ必ス其賠償ヲ爲サ、ルヘカラ
ス又若シ其錯誤ノ責對手人ニ在ルハ爲メニ契約ノ成
立ヲ妨ケ若クハ其效力ヲ損セサルハト雖モ對手人ヲシ
テ損害ノ償ヲ爲サシムルヲ得ヘキナリ

○第二 法律上ノ錯誤 錯誤ハ其事實上ニ係ルト法律
上ニ係ルトニ論ナク其承諾ノ原因タルハ或ハ契約ノ
成立ヲ妨ケ或ハ其效力ヲ損スルモノナリ
世人周ク法律ヲ知了セルモノト看做スハ法律ノ一大原
則ナレハ或ハ法律ヲ知ラサルハ其人ノ不幸ニシテ毫モ
願ルコトナクシテ可ナリト曰フ者アラン然レモ其言是ナ
ラス抑人爲法ハ頒布ニ因テ始メテ人ニ之ヲ遵奉スルノ

義務ヲ生スルモノナレハ之ヲ適用セント欲セハ必ス先
ツ之ヲ知ラシメサルヘカラス然レモ法律ハ社會ノ進化
ト共ニ密ヲ加フレハ普通ノ學識ヲ備フル者ト雖モ猶ホ
之ヲ知得スルニ困苦ヲ覺ルニ至ル況ヤ凡庸ノ民衆ニ於
テハ實際上法律ヲ知ラサル者其多キニ居ルハ固ヨリ略
易キノ理ナリ故ニ若シ不知ヲ以テ法網ヲ免カル、ノ辭
柄ト爲スヲ聽サハ終ニ社會ノ安寧ヲ保維スル能ハス於
是乎已ムヲ得スシテ公益ニ關スル法ニ限り世人周ク法
理ヲ知得セリト看做スノ法ヲ定ム此法ヤ元ト一ノ變則
ニシテ純理ニ基クモノニアラサルナリ故ニ公益ニ關ス
ル法ト雖モ人ヲシテ周ク之ヲ知ラシムルノ途アルモノ
ハ之ヲ適用スヘカラス況ヤ其法ノ偏ヘニ私益ニ關シテ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

之ヲ適用セサルモ公益ヲ保維スルニ於テ小害ナキモノ
ヲヤ故ニ法律上ノ錯誤亦事實上ノ錯誤ト同ク其締約ノ
理由ノ全部ヲ成スト一分ヲ成ストニ從ヒ或ハ契約ヲシ
テ無効タラシメ或ハ之ヲシテ取消スヲ得ヘキモノタラ
シメサルヘカラス

○如何ナル場合ニ法律上ノ錯誤アリト爲ス乎曰ク賣買
ト交換トヲ誤ル如ク契約ニ附シタル法律上ノ名稱ヲ誤
ルヲアリ賣主ニ於テ隱蔽セル瑕疵ハ之ヲ知ラサルニ於
テハ其責ナシト誤信シタル如ク法律上ノ效果ヲ誤ル
アリ法律上讓渡スルヲ得サル物件ヲ賣買シタリト誤信
シテ該賣買取消ノ約ヲ結ヒタル如ク法律上其原因ヲ誤
ルヲアリ不動權ヲ動權ト誤信シテ之ヲ買取リタル如ク

法律上其目的物ヲ誤ルヲアリ又代理人ニアラサル者ヲ
代理人ト誤信シテ賣買契約ヲ爲シタル如ク法律上其人
ヲ誤ルヲアリ此ノ如キハ皆テ法律上ノ錯誤ニシテ其契
約ノ理由ノ全部ヲ成スト一分ヲ成ストニ因リ或ハ契約
ノ成立ヲ妨ケ或ハ其效力ヲ損スルモノナリ
○右ノ如ク法律上ノ錯誤亦契約ニ其影響ヲ及ホスト雖
モ將ニ締結セントスル契約ノ事柄ニ關スル法律ヲ探知
スルハ敢テ難キニアラス之ヲ學識經驗アル者ニ質ス亦
容易ナレハ裁判官法律上ノ錯誤ヲ以テ承諾ノ瑕疵ト爲
サントスルニ方テハ殊ニ慎重ヲ旨トシ狀況ヲ熟察シテ
其寬恕スヘキヤ否ヲ審究攷察セサルヘカラス

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

第二條 畏懼ヲ論ス

○畏懼トハ何ソヤ自己又ハ他人ノ身体財産若クハ名譽ニ危害ヲ被ルヲ恐怖スルヲ謂フ故ニ其暴行脅迫ニ出テタルト天災危難ニ因ルトト問ハサルナリ抑承諾ハ自由ニ出テタルモノニアラサレハ完全ノ効ナシ故ニ其畏懼ハ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスモノトス然レモ之ヲ以テ契約ノ成立ヲ妨ケ又ハ其效力ヲ損スルモノト爲スニハ契約ノ原因畏懼ニ在リテ爲メニ不正ノ結果ヲ生シタルヲ必要トス請フ左ニ之ヲ分説セシ

○第一 畏懼ヲ以テ契約ノ成立ヲ妨ケ又ハ其效力ヲ損スルノ原因ト爲スモノハ是レ其締約者ノ自由ヲ妨ケ其承諾ニ瑕疵ヲ及ホスカ故ナリ故ニ締約者單ニ畏懼ノ念

ヲ抱キタルモ其契約ニ之レカ影響ヲ及ホサ、ルキハ以テ其成立ヲ妨ケ又ハ其效力ヲ損スルヲナシ即チ契約ノ原因畏懼ニ在ルキニアラサレハ承諾ニ瑕疵ヲ生スルヲナキナリ其畏懼不利ノ條件ヲ承諾スルノ原因タルキト雖モ其締約ノ原因タルニアラサルキハ契約ニ瑕疵ヲ及ホスヲナシ唯自己ニ對スル暴行脅迫畏懼ノ原因タルキハ作動者ナシテ損害ヲ賠償セシムルヲ得ルノミ如何ナル場合ニ於テ契約ノ原因畏懼ニ在リト爲ス乎此点タル實際當時ノ情況ト其人ノ年齢身位智愚強弱思慮ノ淺深教育ノ厚薄等ヲ攷察シテ之ヲ定ムルノ外ナシ故ニ普通ノ道理心ヲ有スル者ノ畏懼スヘキ事ナリヤ否ヲ以テ之レカ標準ト爲スカ若キハ法理ノ容レサル所ナリ

○賣買ノ要件ヲ論ス ○承諾ヲ論ス

○第二 畏懼ヲ以テ契約ノ成立ヲ妨ケ又ハ其效力ヲ損
 スルノ原因ト爲スニハ單ニ其結約ノ原因タルコトヲ要ス
 ルノミナラス亦爲メニ不正ノ結果ヲ生シタルコトヲ要ス
 人畏懼ノ念ヲ生シ爲メニ結約スルニ至リタルト雖モ
 其契約タル固ト當然爲スヘキモノナルトハ其成立ヲ妨
 ケ又ハ其效力ヲ損スルコトナシ夫レ暴行脅迫ヲ受ケ爲メ
 ニ損害ヲ被リタル者ハ其賠償ヲ要ムルヲ得ヘキモ之ヲ
 原因トシテ其當然爲スヘキ契約ヲ無ニ歸セシメ又ハ之
 ヲ取消スヲ許スヘカラサルナリ
 右ニ説示シタル如ク結約ノ原因畏懼ニ在リテ爲メニ不
 正ノ結果ヲ生シタルトハ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスモノナリ
 而シテ其瑕疵ハ契約ノ成立ヲ妨クルコトアリ又其效力ヲ損

スルコトアリ今何ニ依テ其區別ヲ定ムヘキ乎其結約ニ及
 ホス所ノ影響ノ強弱ニ應シテ其差ヲ生スルモノナレハ
 茲ニ之ヲ概定スルヲ得ス實際ノ情況ニ基キ危害脅迫ニ
 シテ抗拒スヘカラサルトハ其畏懼人ヲシテ是非得失ノ
 思想ヲ失ハシメ縱ヒ歸與アルモ責任ナカラシムルカ故
 ニ契約ノ成立ヲ妨クルモノト爲シ又其危害ノ抗拒シ得
 ヘカラサルニアラサルモ若シ之ニ抗拒スルトハ契約ヲ
 承諾スルヨリモ一層其害ノ甚シキヲ恐レ之ヲ避クソカ
 爲メ承諾ヲ爲シタルトハ自由ヲ全失シタルニアラサル
 モ其幾分ヲ減殺セラレタルモノナレハ契約ノ效力ヲ損
 スルモノト爲スヘキナリ
 ○右ノ如ク畏懼ノ輕重ニ因リ或ハ契約ノ成立ヲ妨ケ又

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

ハ其效力ヲ損スルト雖モ其畏懼ノ原因對手人ニ在ラス
シテ爲メニ對手人ニ損害ヲ及ホシタルハ其賠償ノ責
ニ任セサルヘカラサルナリ

第三條 詐欺ヲ論ス

○詐欺トハ人ヲ欺クカ爲メニ行ヒタル虚偽ノ術策ナリ
佛法其他之ニ模倣セル法制ニ於テハ詐欺ヲ以テ承諾ニ
瑕疵ヲ生スルモノト定メタリ蓋シ非ナリ抑詐欺ハ元ト
人ヲシテ錯誤セシムルヲ以テ其趣意ト爲スモノナレハ
爲メニ錯誤ヲ生シタルハ其錯誤ノ如何ニ因リ或ハ契
約ノ成立ヲ妨ケ或ハ其效力ヲ損スト雖モ個ハ是レ錯誤
ノ致ス所ニシテ詐欺ノ致ス所ニアラス詐欺ハ錯誤ノ原

因タルニ過キサルナリ故ニ若シ詐欺ニ因リ契約ヲ結ヒ
タルハ詐欺者ニ對シ損害ノ償ヲ要ムルヲ得ヘキモ爲
メニ承諾ニ瑕疵ヲ及ホス所ノ錯誤ヲ來サ、ルハ其契
約ヲ取消シ又ハ之ヲ無ニ歸セシムルヲ得サルナリ
或ハ曰ハン詐欺ニ因リ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスヘキ錯誤ヲ
生セサルハト雖モ其詐欺對手人ヨリ出テタルハ佛法
ノ如ク之ヲ以テ其契約取消ノ原因ト爲スヘシト曰ク賠
償名義ヲ以テ其契約ヲ取消スヲ許スハ固ヨリ可ナリト
雖モ詐欺其者ヲ以テ直チニ契約取消ノ原因ト爲スハ抑
不可ナリ是レ恰モ暴行脅迫ハ畏懼ノ原因ニシテ契約ニ
直接ノ影響ヲ及ホスモノニアラサレハ其所爲對手人ニ
出テタルハ爲メニ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスヘキ畏懼ヲ生

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

セサルモ或ハ賠償名義ヲ以テ其契約ヲ取消スヲ許スヘシ暴行脅迫ヲ以テ直チニ契約取消ノ原因ト爲スヘカラサルト一般ナリ余カ此点ニ付キ勉テ區別テ正アスルモノハ是レ詐欺其者ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スト賠償名義ヲ以テ契約ヲ取消スニ過キスト爲ストノ間ニハ差異ノ大ニ見ルヘキモノアルカ故ナリ即チ詐欺其者ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲サ、ルルハ契約ノ目的不動物ニ在リテ之ヲ轉讓シタル他人其情ヲ知ラサルハ契約ノ對手人數人アリテ其一人ノミ詐欺ヲ行ヒタルハ詐欺者契約取消前無資力ト爲リタルハ及ヒ對手人ニ於テ詐欺ヲ行ハス又ハ之ニ干與セサルハ其契約ヲ取消ス能ハスト雖モ之ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スルハ畏懼錯誤

ト同ク右ノ場合ニ於ケルモ亦其契約ヲ取消スヲ得ヘシ彼此結果ヲ異ニスル其レ此ノ如シ故ニ宜ク眞理ノ在ル所ヲ釋チテ其性質ヲ決セサルヘカラサルナリ

第二款 能力ヲ論ス

○承諾ハ契約ノ基本ニシテ利害得失ヲ考察シテ其決意ヲ表スル是レ承諾ナレハ契約ヲ爲サントスル者ハ必ス承諾ヲ爲スノ能力即チ利害得失ヲ考察シテ事ヲ決スルノ智力ヲ具有セサルヘカラス又實際承諾ヲ爲スノ能力ヲ有スル者ト雖モ法律上特ニ結約ヲ禁シタル者亦契約ヲ爲スヘカラサルナリ

無能力ニ二種アリ一ハ性質上ノモノニシテ一ハ法律上

○資質ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

ノモノナリ性質上ノ無能力者トハ一時タルト繼續タルトニ論ナク精神錯乱シ智力ヲ喪失シタル者ヲ謂ヒ法律上ノ無能力者トハ實際智力ノ不充分ナルト否トニ論ナク之ヲ推定シ又ハ智力ノ充分ナルト明カナルモ特別ノ理由アルヲ以テ其能力ヲ殺キタル者ヲ謂フ以下此点ヲ分説スヘシ

○性質上ノ無能力者 性質上ノ無能力者トハ幼者白痴瘋癲泥酔者激怒者ノ類ヲ謂フ
幼者及ヒ白痴瘋癲ノ性質上ノ無能力者タル所以ハ一ハ經驗ニ乏ク其所爲ノ利害得失ヲ考慮スルノ智力發達セサルカ故ニシテ一ハ精神錯乱シ智力喪失セルカ故ナリ
泥酔者及ヒ激怒者ヲ無能力者ト爲スノ点ニ付テハ世間

往々論アリト雖モ泥酔ハ人ノ智力ヲ蔽ヒ能力ヲ損シ又激怒ハ往々心意ヲ惑亂セシムルヲアレハ之ヲ以テ無能力者ト爲ス亦決ノ誤レルニアラサルナリ然レモ此場合ニ於テハ實際泥酔又ハ激怒ノ爲メニ不完全ナル承諾ヲ爲シタリヤ否ヲ考案シ然ル後事ヲ決セサルヘカラス
○法律上ノ無能力者 法律上ノ無能力者ニ二種アリ一ハ一般ノモノニシテ一ハ特別ノモノナリ賣買契約ニハ一般ノ無能力法ヲ適用スヘキノミナラス亦特別ノ無能力ヲ定メサルヘカラサレハ左ニ一般ノ無能力ヲ論シ然ル後特別ノ無能力ニ論及スヘシ
○一般ノ無能力者トハ未丁年者禁治産者及ヒ妻ナリ此等ノ者亦一切ノ場合ニ無能力ナリト謂フニアラス唯其

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

無能力ナル場合多クシテ其能力ヲ有スルハ道理上一ノ
 例外ニ屬スルカ故ニ之ヲ一般ノモノト爲スナリ
 未丁年者○未丁年者トハ法律ニ定メタル年齢ニ達セサ
 ル者ヲ謂フ凡ソ人ハ多少ノ歲月ヲ經過シ世事ニ經驗ス
 ルニアラサレハ其身ヲ脩メ其財ヲ理ムルノ能力利害得
 失ヲ辨別スルノ智力未タ發達セサルモノナリ抑モ人ハ
 幾歲月ヲ經過セハ全ク其能力發達スルニ至ルヤノ点ハ
 身位ノ尊卑智識ノ深淺教育ノ厚薄等ニ因リ實際其期ヲ
 一ニセス而モ此等ノ情狀ヲ斟酌シ各人ノ能力ヲ勘査ス
 ルハ人力ノ能クスル所ニアラサレハ各國多敷者ノ能力
 ヲ基本トシテ一定ノ推測ヲ定メサルヘカラス吾カ邦ニ
 於テハ明治九年第四十一號布告ヲ以テ滿二十一年以上

ヲ丁年ト定メタリ
 未丁年者ハ法律上無能力ナリト推測シタル者ナリト雖
 モ幾ニ一言シタル如ク亦必スシモ自ラ事ヲ行フ能ハサ
 ルニアラス吾カ邦ニ於テハ此等ノ点ニ關スル完全ノ法
 制ナシト雖モ法理要論ニ論明シタル如ク假免ナルモノ
 ヲ設ケテ以テ實際能力ヲ有スル幼者ニ其幾分ヲ與ヘサ
 ルヘカラス又假免セラレサル幼者ト雖モ所爲ノ性質ニ
 因リ自ラ事ヲ行フヲ許サ、ルヘカラサルヲアリ此点ニ
 付テハ論スヘキモノ殊ニ多シト雖モ本書ニ必要ナラサ
 レハ總テ之ヲ畧ス
 禁治産者○禁治産ニ裁判上ノモノト法律上ノモノトノ
 ニアリ裁判上ノ禁治産トハ丁年ニ達シタルモ智覺精神

ノ充分ナラサルノ故ヲ以テ裁判上ヨリ治産ノ全部若クハ幾分ヲ禁スルモノニシテ法律上ノ禁治産トハ刑罰ニ處セラレタルノ故ヲ以テ當然治産ヲ禁スルモノナリ
 裁判上ノ禁治産トハ佛民法第四百九十九條第五百十三條千八百三十八年六月三十日附ノ法律ニ定メタルモノ、類ニシテ法律上ノ禁治産トハ刑法第三十五條ニ定メタルモノナリ此点ニ付テモ亦論スヘキモノ多シト雖モ茲ニ之ヲ畧ス

妻○政治上ノ能力ハ姑ク措テ論セス凡ソ人ハ男女ノ別ナク民事上ノ能力ヲ有スルモノナリト雖モ女子一旦結婚スルヤ多少之レヲ減殺セラル、モノトス其理左ノ如シ

抑夫妻ハ貞實ニシテ真情ヲ尽クシ相與ニ扶持佑翼シ以テ室家ノ大倫ヲ全フセサルヘカラス若シ夫妻各其權利ヲ擅行セハ恰モ天ニ二日アリ國ニ二主アルカ如ク遂ニ其情交親ヲ破リ一家ノ休安ヲ保ツ能ハス從テ社會ノ秩序亦其安全ヲ維保スルコト能ハサルニ至ル故ニ女子結婚スルハ其私權ノ過半ハ夫ノ權利中ニ埋没シ夫ノ然諾ヲ經ルニアラサレハ之ヲ實行スルヲ得スト爲スヘキナリ然レモ是レ亦例外ナキニアラス或種ノ所爲ハ妻之ヲ行フコトヲ得ルモノナリ

○以上一般ノ無能力者ヲ一言シタリ是レヨリ賣買契約ニ關シ設定スヘキ特別ノ無能力者ヲ論スヘシ
 佛民法第千五百九十五條以下ニ賣買契約ニ關シ特別ノ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

無能力者ヲ定メタリ之ヲ大別スルニ三種アリ佛法ニ定ムル所能ク其理ニ適スルヲ覺ユレハ今其全文ヲ掲ケ之ヲ開説スヘシ

第一種○佛民法第千五百九十五條ニ曰ク「賣買契約ハ左ノ三个ノ場合ニアラサレハ夫妻ノ間ニ爲ストヲ得ス○第一夫妻中ノ一方ノ者裁判上己レト離分シタル他ノ一方ノ者ニ其權利ノ辨濟ニ於テ財産ヲ讓渡ス場合○第二夫ヨリ己レト離分セサル場合ト雖モ其妻ニ爲ス所ノ讓渡カ其妻ノ所有權ヲ移轉シタル不動物又ハ其妻ニ屬スル金額ノ再用ノ如キ正當ノ原由ヲ有スル場合但其不動物又ハ金額ノ共通財産中ニ加ハラサルキニ限ル○第三財産共通ノ除斥アルキ妻ヨリ其夫ニ嫁資トシテ約束シ

タル金額ノ辨濟ニ於テ妻ヨリ財産ヲ讓渡ス場合○但右三个ノ場合ニ於テ間接ノ利益アルキハ結約者ノ相續人ノ權利ヲ害スヘカラスト
右ノ條ヲ解釋スルニ先チ何故ニ該條ハ特別ノ無能力ヲ定メタルモノナリヤノ点チ一言スヘシ
該條第一項ニハ夫妻ノ間ニ爲ストヲ得ストアリ夫ハ何人ニ對スルモ其能力ヲ有シ充分ニ民事上ノ所爲ヲ行フヲ得ルモ特別ノ理由アルカ故ニ妻ニ對シテハ賣買契約ヲ爲ステ得スト定メタリ又妻ハ一般ノ無能力者ナリト雖モ其夫又ハ裁判所ノ允許ヲ得ルキハ契約ヲ爲ステ得而モ其夫ニ對シテハ決メ賣買契約ヲ爲ステ許サ、ルナリ其レ此ノ如ク賣買契約ニ限り或ル場合ニ關シ特ニ能

力ヲ殺クモノナルカ故ニ之ヲ特別ノ無能力者中ニ列シタルナリ

是レヨリ該條ノ意義ヲ論明セシニ夫妻間ニ賣買契約ヲ結フヲ許サ、ルハ或ハ變裝ノ賣買ヲ爲シ相續人ナシテ其實体ヲ證明スルヲ得サラシメ或ハ夫其妻ヲ壓抑シ其名賣買ニシテ其實贈與ヲ爲サシメテ贈與ノ如ク之ヲ取消スヲ得サラシメ(佛民法第千九十六條參看)或ハ變裝ノ賣買ヲ爲シテ夫若クハ妻ノ權利者ヲ害スルニ至ル等ノ恐レアルカ故ナリ然レモ亦全ク之ヲ禁スルニアラス法律ニ之レカ三个ノ場合ヲ取除キタリ此例外タル未タ夫妻ニ關スル完全ノ法ナキ吾カ邦ニ於テ之ヲ論スルノ必要ナシト雖モ亦聊カ他日ノ參考ニ供スルノ益ナキニア

ラサレハ少ク之ヲ論スヘシ

第一ノ例外ハ夫妻裁判所ノ言渡ニ因リ財産ヲ分チタル場合ニ爲ス所ノ讓渡ナリ今夫妻裁判所ノ言渡ニ因リ財産ヲ分ツキハ必ス夫若クハ妻其一方ニ對シテ義務ヲ尽クサ、ルヘカラシムルヲアリ此義務ヲ尽クスニ付キ金額ニ不足ヲ生シタルキハ財物ヲ讓渡シテ其責ヲ免カル、ヲ得ヘシ而シテ此際ニ財物ヲ讓渡スルハ實地債ノ所ノ義務辨濟ノ爲メナレバ變裝ノ賣買ヲ爲スカ如キ憂アラサルナリ

第二ノ例外ハ夫ヨリ妻ニ財物ヲ讓渡スル場合ナリ若シ夫ニ於テ正當ノ理由アルキハ其妻ニ財物ヲ讓渡スルヲ得ヘシ而シテ此正當ノ理由ニ於ケルヤ廣キニ失スルモ狹

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

キニ失スルモ共ニ其弊アルカ故ニ法律ニ於テハ其方向ヲ定メンカ爲メ二个ノ例外ヲ掲ケタリ第一ハ妻ニ於テ其不動産ヲ賣却シテ得タル金圓ヲ不動産買入レニ使用スルカ爲メニシテ第二ハ妻ニ属スル金額ヲ物件買入レニ使用スル場合ナリ此等ノ場合ニ於テハ確乎タル證據アルカ故ニ決シテ變裝ノ賣買ヲ爲スカ如キ愛アラサルナリ

第三ノ例外ハ嫁資ニ代フル爲メ妻ヨリ其夫ニ財物ヲ讓渡スル場合ナリ佛國ニ於テハ妻ヨリ結婚中ノ費用ヲ助ケンカ爲メ多少ノ金額ヲ持來ルモノニシテ多クハ結婚ノ際之ヲ持來ルト雖モ時ニ他日金若干ヲ嫁資トシテ入ルヘキノ約ヲ爲スヲナキニテ然ルニ實家ノ衰頽又

ハ負債主ノ無資力等ニ因リ其嫁資ヲ入ル、能ハサル片之ニ代フルニ財物ヲ以テス、ヲ許ス是レ既ニ確成セル義務ヲ免カル、カ爲メニシテ實際變裝ノ憂アラサルナリ

余思フニ此第三ノ場合ヲ嫁資ニ代フル爲メノ事ニ限リタルハ少ク狭キニ失スルノ恐レアリ總テ確實ナル既成ノ義務ヲ免カル、爲メニハ其讓渡ヲ許スモ決シ其弊アルハカヲサルナリ

右第二第三ノ場合ニ於テハ夫妻財産ヲ共通セサルヲ必要トス是レ理ノ尤モ賭易キ所ナリ

右ノ如ク實際其弊ナキ三个ノ場合ヲ例外ト爲シタリト雖モ猶ホ或ハ其讓渡セシ物件ノ多キニ過キ又ハ少キニ

失スルノ弊ナキニアラス故ニ第二項ヲ以テ此ノ如キ場
合ニ於テハ相續人ヨリ其權利ヲ保護スルノ訴ヲ爲スナ
許シタリ法文此ノ如シト雖モ道理上夫妻ニモ亦此權利
ヲ與ヘサルヘカラス

第二種○佛民法第千五百九十六條ニ曰ク左ノ各人ハ己
レ自身ニテモ又ハ介入者ヲ以テスルモ左ノ財産ノ競買
人ト爲ルヲ得ス若シ之ヲ買入レタルルハ其買入ノ效
ナカルヘシ○後見人ハ其後見ヲ爲ス者ノ財産○代理人
ハ其賣却ヲ委託セラレタル財産○管理人ハ自己ノ管照
ニ委託セラレタル邑又ハ公舎ノ財産○公ケノ官吏ハ自
己ノ紹介ヲ以テ賣拂フ國ノ財産」ト

本條モ亦一ノ禁止法ニシテ特別ノ無能力者ヲ定ムルモ

ノナリ其數四アリ

第一 後見人ハ幼者ノ利益ヲ保護スルノ任アリテ恰モ
親子ノ關係ノ如ク幼者ノ上ニ權力ヲ有スルモノナレハ
或ハ私心ヲ抱キ幼者ノ利益ヲ顧ミスシテ其財産ヲ廉價
ニ買入ルノ奸策ヲ施スヲナシトセス故ニ公賣ノ場合ト
雖モ後見人ハ被後見人ノ財産ヲ買入ル、ヲ得スト定メ
タリ

第二 賣拂ノ委任ヲ受ケタル代理人ニシテ其委任ヲ受
ケタル財産ヲ買入ル、ハ一人ニシテ賣主ト買主トヲ兼
スルモノナルヲ以テ其利益相牟盾スルモノナリ是レ一
錢タリモ高價ニ物件ヲ賣ルハ賣主ノ利益ニシテ一錢タ
リモ廉價ニ物件ヲ買フハ買主ノ利益タレハナリ故ニ公

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

賣ノ場合ト雖モ代理人ニ委任者ノ財物ヲ買フヲ許スルハ或ハ妨策ヲ運ラシ委任者ノ利害ヲ顧ミスシテ廉價ニ之ヲ買入ル、ノ弊ナキニアラサレハ法ニ之ヲ嚴禁シタリ

第三 邑長監獄署長學校長病院長ノ類ニ邑又ハ公舎ノ財産ヲ買入ル、ヲ禁スル所以ハ前者ニ同シ故ニ之ヲ畧ス

第四 國ニ屬スル財産賣拂ノ任ヲ負フ公ケノ官吏ノ其財産ヲ買フヲ禁スル所以亦前者ニ同シ故ニ復タ贅セス

第三種 ○佛民法千五百九十七條ニ曰ク「裁判官其補官檢察官裁判所書記使吏代書師^譯爲辯護人及ヒ公證人ハ其職務ヲ行フ地ヲ管轄スル裁判所ノ所轄タル訴訟又ハ爭

訟アル權利及ヒ訴權ノ讓受ハト爲ルヲ得ス若シ之ヲ讓受ケタル片ハ其讓受ハ無効タルヘク且費用及ヒ損害ノ賠償ヲ負擔スヘシ

裁判官檢察官書記等ハ何レモ充分ニ能力ヲ具有スルモノニシテ通常賣買ヲ爲スヲ得ヘシト雖モ其職務ヲ行フ地ヲ管轄スル裁判所ノ所轄タル訴訟及ヒ訴訟ニ係ルヘキ權利ヲ買入ル、ヲ許サス是レ之ヲ許スルハ其權利者ヲ欺キ之ヲシテ其勝敗ニ付キ危疑ノ念ヲ抱カシメ自ラ之ヲ廉價ニ買入ル、ノ恐レアレハナリ

佛國ニ於テ此等ノ官吏ノ買入ル、ヲ得サルモノハ既ニ訴訟ニ係ル權利ノミナルヲ將テ訴訟ニ係ルヘキ權利ヲモ包含スルヤノ点ニ付キ往々論アリ余ハ佛法ヲ講スル

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

者ニアラサレハ茲ニ其說ノ當否ヲ辨セスト雖モ道理上
 訴訟ニ係ルヘキ權利モ亦之ヲ買入ル、ヲ得スト定メサ
 ルヘカラス何トナレハ既ニ訴訟ニ係ル權利ノ買入ト將
 ニ訴訟ニ係ラントスル權利ノ買入レトハ之ヲ許スヘカ
 ラサルノ理由ヲ同フスレハナリ
 其權利買入ノ當時訴訟ニ係ラントスルモノナリシヤ否
 ノ点ハ茲ニ豫メ之ヲ概定スルヲ得ス實際裁判官ノ判定
 ニ任セサルヘカラサルナリ

○以上無能力者ニ關スルノ法ヲ略説シタリ是レヨリ無
 能力者ノ爲シタル賣買ハ其成立ヲ妨クルモノナリヤ又
 ハ其效力ヲ損スルニ止マルモノナリヤノ点ヲ一言スヘ
 シ

○性質上ノ無能力者ハ智覺精神ニ乏ク若クハ心神惑亂
 シタルモノナレハ縱ヒ外形上承諾アリタルカ如キ觀テ
 望スルモ其實承諾ナキモノナリ故ニ其爲シタル賣買契
 約ハ全ク無ニ屬シ啻ニ無能力者ヨリ之ヲ訴フルヲ得ル
 ノミナラス亦對手人ヨリモ之ヲ訴フルヲ得ヘキナリ然
 レモ法律上ノ無能力者ニ至テハ一概ニ論スルヲ得ス
 ○未丁年者及ヒ裁判上ノ禁治産者ヲ以テ法律上無能力
 者ト爲シタル所以ハ其完全ナル承諾ヲ爲スヲ得サルカ
 故ニシテ全ク承諾ヲ爲スヲ得サルカ故ニアラサレハ其
 締結シタル賣買ハ之ヲ取消シ得ルニ止マルモノトス然
 レモ其實性質上ノ無能力者ニ歸スル者ニ至テハ此限ニ
 在ラス例ヘハ五六歳ノ未丁年者若クハ眞ニ智覺精神ヲ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

喪失シタル禁治産者ノ爲シタル賣買ハ全ク無ニ屬スルノ類ナリ

右承諾ニ瑕疵アリトシテ其契約ヲ取消シ得ヘキ場合ニ於テハ無能力者ヨリ之ヲ取消スヲ得ルモ對手人ヨリスルヲ得ス是レ對手人ハ充分ニ能力ヲ有スル者ニシテ而シテ此種ノ契約ナル唯承諾ニ瑕疵アルカ爲メ之ヲ取消シ得ヘキニ止マリ全ク無ニ屬スルモノニアラサレハナリ法律上ノ禁治産者即チ刑法第三十四條ニ定メタル者ニ至テハ其爲シタル賣買契約ハ全ク無ニ屬スルモノトス是レ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ヲ無能力者ト定メタル所以ハ其承諾ヲ爲スノ能キキカ故ニアラスシテ囚人因テ以テ多少ノ快樂ヲ資シ得ニ不正ノ使用ヲ爲シ爲メ

ニ刑罰ノ效ヲ滅殺スルノ恐レアルカ故ニシテ法律上公益ヲ顧ミテ之ヲ定メタルモノナレハ其契約ヤ全ク無ニ屬シ締結者双方ヨリ之ヲ訴フルヲ許シテ以テ其制裁ト爲サ、ルヘカラス

○賣買契約ニ關シ法律上特ニ無能力者ト定メタル者ノ締結シタル契約ハ如何佛法ニ於テハ其契約ヲ全ク無ニ屬セシメ之ヲ取消シ得ヘキモノタルニ止メスト雖モ余ハ一概ニ之ヲ論スルヲ得スト何トナレハ單ニ締結者一方ノ者ヲ保護センカ爲メニ定メタルモノアリ又其保護ヲ主トスルモ傍ヲ公益ヲ顧ミテ定メタルモノアレハナリ夫ノ夫妻間ノ賣買ハ時ニ變裝ノモノアリテ夫若クハ妻ノ債主ヲ欺キ之ニ損害ヲ被ラシムル恐レアルヲ以

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

予其禁制ノ理由ノ一ト爲シ裁判官檢察官ノ賣買ハ瀆職ヲ以テ其理由ノ一ト爲スモノナレハ其多少公益ニ關スル所アリ故ニ其契約ヲ無ニ屬セシムル亦可ナリト雖モ後見人代理者等ノ無能力ハ一ニ賣主ヲ保護センカ爲メニ定メタルモノニシテ公益ニ關スルナク又承諾ナキモノニアラサレハ其契約ヲ以テ全ク無ニ屬セシムヘカラス唯賣主ニ之ヲ取消スヲ許シテ足レリトス或ハ日ハン取消シ得ヘキ契約ハ他日之ヲ確認スルヲ得ルモ其到底之ヲ確認スルヲ得サルモノハ全ク無ニ屬セシメサルヘカラス今賣買契約ニ關シ法律上特ニ無能力者ト定メタル者ノ締結シタル契約ハ到底之ヲ確認スルヲ得ス故ニ其契約ヤ全ク無ニ屬スヘキナリト或者ノ理

論至當ナリト雖モ其適用ニ至テハ全ク誤マレリ何トナレハ此場合ニ於ケルモ亦決メ之ヲ確認スルヲ得サルモノニアラサレハナリ試ニ見ヨ後見人ノ場合ニ於テ後見ヲ免カレタル後ト雖モ幼者ニ於テ之ヲ確認スルヲ得スト爲ス乎又代理人ノ場合ニ於テ代理終了シタル後ト雖モ賣主ニ於テ之ヲ確認スルヲ得スト爲ス乎法律ニ於テ無能力者ト定メタルノ理由消滅シタル後ハ賣主有效ニ其契約ヲ確認スルヲ得ルモノナリ故ニ曰フ或者ノ理論至當ナルモ其適用ニ至テハ全ク誤レリト

○契約全ク無ニ屬スル場合ニ於テハ其全ク成立セサルカ故ニ幾歲月ヲ經過スルモ其效力ヲ生スルナシト雖モ其取消シ得ヘキ場合ニ於テハ法律上宜ク之レカ期限

ヲ定メ之ヲ經過シタルハ其効力ヲ生スルモノト爲サ
 サルヘカラス佛國ニ於テハ通常其期限ヲ十年ト定メタ
 リ蓋シ允當ナラン
 無ニ屬スル契約ハ到庭其効力ヲ生スルヲナシト雖モ一
 且物件ヲ引渡シタル後ハ或ル期限内ニアラサレハ之ヲ
 取戻スヲ得ス是レ全ク無ニ屬スル契約ノ執行ヲ要ムル
 ニハ必ス其契約アリタルヲ證明セサルヘカラスルカ
 故ニ幾歲月ヲ經過スルモ到底其執行ヲ要求スルヲ得サ
 ルベシ然レモ一旦物件ヲ引渡シタルニ於テハ對手人既
 ニ其物件ヲ占有スルヲ以テ幾歲月ノ後ハ期滿效ニ因リ
 其所有權ヲ得ヘシ故ニ復タ之ヲ取戻スヲ得サレハナリ
 右ノ法則ハ無能力者ノ場合ニ限レルモノニアラスト雖

モ前キニ之ヲ脱シタレハ茲ニ之ヲ一言シタルナリ以下
 目的物原因等ニ關シテハ總テ之ヲ略ス

○

第三款 損失ヲ論ス

○佛民法ニ於テハ承諾ノ部ニ損失ノ事ヲ定メタリ蓋シ
 損失ハ承諾ニ環瑾ヲ生スルモノニアラサレハ之ヲ承諾
 ノ部ニ定メタルハ其當ヲ得スト雖モ往々之ヲ是トスル
 者アレハ假ニ本節ニ列シテ之ヲ論セントス
 凡ソ有價契約ニ在テハ双方共ニ其利益ヲ得ヘキカ故ニ
 必ス其失フ所及ヒ其得ル所平均ナラサルヘカラス若シ
 其平均ヲ失ンカ乎一方ノ者ハ不正ノ利益ヲ得ルニ至ル
 ベシ故ニ必スヤ之ヲシテ相當ノ補足ヲ對手人ニ辨償セ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

シメサルヘカラス而ノ買主ニ於テ補足ヲ出スニ於テハ其契約ヲ結フヲ欲セサルヲアレハ補償名義ヲ以テ其契約ヲ取消スヲ許サ、ルヘカラス是レ純理ノ命スル所ナリ然レモ若シ自由ニ締結シタル契約ニ關シ損失アリトシテ其補足ヲ要メ若クハ其契約ノ取消ヲ要ムルヲ許サハ公益維持ノ点ニ於テ甚シキ損傷アルノミナラス有價契約ノ場合ニ於テ双方希圖セシ所ノ利益幾許ナリシヤ又果ノ一方ノ者ニ損失アリタルヤ之ヲ判定スルノ頗ル難ク縱ヒ鑑定等ノ方法ニ因リ其評價ヲ爲シ得ルモ外ニ在リテ尙ホ或ハ其利益トスル所アルヘク且此利益タル殆ト無形裡ニ存シテ他ノ監察ノ及フ所ニアラザレハ特別ノ場合ヲ除クノ外法律上之ヲ許スヘカラス今佛法ヲ

案スルニ損失ノ爲メ契約ヲ取消スヲ許ス場合三アリ曰ク未定年者ノ爲シタル契約曰ク相續ノ分配曰ク不動物ノ賣買契約是レナリ
未定年者ハ智慮淺薄ニシテ特ニ法律ノ保護ヲ要スルカ故ニ些少ノ損失アリト雖モ總テ其爲シタル契約ヲ取消スヲ得ルト定メタリ〔第一千三百五條〕此條ニ付テハ往々議論アリト雖モ之ヲ略ス唯余ハ己ニ法律上未定年者ヲ以テ無能力ナリト定メタル以上ハ損失アル場合ニ限り其契約ヲ取消スヲ得ヘシト定メ之ニ能力ヲ與フルヲ爲スヘカラスト信ス故ニ此場合ハ之ヲ除キテ論セス又相續分配ハ平等ヲ旨トスルモノニシテ無形裡ニ存スルノ利益少キカ故ニ其四分ノ一以上ノ損失アルルハ之

ヲ取消スヲ得ト定メタリ〔第八百八十七條〕然レモ此点ハ
 本書ニ關係ナキヲ以テ之ヲ詳説セス
 又不動産賣買ノ場合ニ於テ賣主ニ十二分ノ七以上ノ損
 失アルルハ其契約ヲ取消スヲ得ト定メタリ〔第一千六百七
 十四條〕此点ニ付テハ往々異論アリ或ハ不動産賣買ニ限
 リ損失ヲ原因トシテ其契約ヲ取消スヲ得ルト爲スハ公
 益上其害少カラサレハ之ヲ許スヘカラスト曰フ者アリ
 又此説ヲ容レサル者ト雖モ往々余ト其理由ヲ異ニスル
 者アリ

有價契約ニ於テハ双方ノ利益相平均スルヲ要スル是レ
 純理ナレハ不動産賣買ノ場合ニ於テ甚シキ損失アルル
 其補足ヲ要シ賣主之ニ應セサルルハ其契約ノ取消ヲ要ム

ルヲ許スハ公益上決シテ大害アルニアラス或ハ多少公益
 ナ害スルコトアルモ其私益ヲ害スル甚シキカ故ニ其害少
 キ公益ヲ措テ其害大ナル私益ヲ願ミサルヘカラス夫ノ
 損失アルカ爲メニ賣買契約ヲ取消スヲ是トスルノ論者
 亦各其論據ヲ同フセス甲曰ク賣主ハ金匱需用ノ切迫ナ
 ルニ因リ此ノ如キ契約ヲ爲シタルモノナレハ其承諾ニ
 瑕疵アリト爲サ、ルヘカラス是レ其效力ヲ損スル所以
 ナリト乙曰ク此ノ如ク廉價ニ不動産ヲ賣却シタルハ其
 物件ノ品質ヲ錯誤シタルニ因ルモノト爲サ、ルヘカラ
 ス是レ其效力ヲ損スル所以ナリト丙曰ク非常ノ廉價ニ
 テ不動産ヲ買取リタルハ必スヤ多少詐欺ヲ行ヒタルモ
 ノト推測セサルヘカラス是レ其效力ヲ損スル所以ナリ

ト三者ノ論何レモ非ナリ承諾ノ瑕疵及ヒ品質ノ錯誤ハ法律上決シテ推測スヘキモノニアラス詐欺即チ惡意ヲ推測スルニ至テハ背理モ亦甚タシキモノナリ蓋シ真正ノ理由タル前既ニ開説シタル如ク買主不正ノ利益ヲ得タルカ故ニ賣主ヨリ其補足ヲ要ムルヲ許シ買主之ヲ背セサルハ補償名義ヲ以テ其契約ヲ取消スヲ許スモノナリ

○是レヨリ損失アルカ爲メニ其補償ヲ要メ若クハ其契約ヲ取消スヲ許スノ法ヲ不動物ニ限ルヘキ所以賣主ノミニ補足若クハ取消ヲ要ムルノ權ヲ與フヘキ所以及ヒ其損失甚シキ場合ニ限ルヘキ所以ヲ論スヘシ
 正當ニ締結シタル契約ハ社會公益ヲ維持スルノ点ヨリ

可及的之ヲ取消サ、ルニ注意セサルヘカラス夫ノ動物ハ不動物ト異ニシテ時々其價ヲ異ニスルモノナレハ他日ニ至リ其相當ノ代價ヲ評定シ難キノミナラス之ヲ許スハ往々裁判上ノ困難ヲ生シ且頻繁ナル動物ノ賣買ニ甚シキ滯滞ヲ來スノ恐レアルカ故ニ損失アリトシテ補足ヲ要メ若シクハ其契約ヲ取消スヲ許スヘカラス之ニ反シ不動物ハ動物ノ如ク時々其價ヲ異ニスルヲナク且其賣買頻繁ナラサルカ故ニ甚シキ損害アルハ其補足ヲ要メ若クハ契約ヲ取消スヲ許スモ大害ナカルヘシ故ニ損失ノ爲メ契約ヲ取消スハ不動物賣買ニ限レリト定メサルヘカラス又賣買ノ場合ニ於テ賣主ノ得ントスル所ノモノハ代價ニシテ買主ノ得ントスル所ノモノハ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

物件ナリ其物件ニ付テハ評價シ得ヘカラスル無形裡ノ利益アルトアレハ他日其買主ニ果メ損害ヲ生シタリヤ否ヲ判定スルヲ得サルヘシ例ヘハ土地ノ所有主其土地ヲ廣メンカ爲メ隣地ヲ買入レ職ヲ官廳ニ奉スル者其近傍ニ在ル家屋ヲ買入レ肺病ノ患アル者高燥ノ土地ヲ買入ル、場合等ニ於テハ其物件買主ニ在テハ評價シ得ヘカラスル無形裡ノ價值アルノ類是レナリ故ニ買主ニ他日不當ノ高價ニテ買入レタリト唱ヘテ其代價ヲ減セシメ若クハ其契約ヲ取消スヲ許スヘカラス之ニ反シ賣主ノ得ル所ハ代價ナルヲ以テ其何人ノ手ヨリ之ヲ受取ルモ全ク同一ナレハ切迫セル需用アル等無形裡ノ利益ナキニアラサルモ此ノ如キハ些々タルトニシテ法律ノ顧

慮スヘキ所ニアラス或ハ却テ其保護ヲ促スニ足ルヘキモノナリ他日其代價ト其物件ノ實價トヲ比較シテ其損失アリヤ否ヲ判定スル極メテ易キヲ以テ若シ甚シキ損失アル片ハ其補足ヲ要メ若クハ其契約ヲ取消スヲ許サ、ルヘカス

又補足及ヒ取消ノ要求ヲ甚シキ損失アル片ニ限ルヘキモノハ是レ些々タル損失ノ爲メ之ヲ許ス片ハ爲メニ公益ヲ害スル甚シケレハナリ故ニ立法官必ス之レヲ制限ヲ設ケサルヘカラス佛國ニ於テハ十二分ノ七以上ノ損失アルニアラサレハ之ヲ取消スヲ得スト定メタリト雖モ少ク嚴酷ニ失スルノ恐レアルカ故ニ余ハ十分ノ五以上ノ損失アルヤ補足若クハ取消ノ要求ヲ許シテ可ナリ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

ト信ス

○余曩ニ損失ノ爲メ契約ヲ取消スハ補償名義ヲ以テスルモノナリト云ヘリ此点タル諸學士ノ容レサル所ナリト雖モ全ク其理ニ適スルモノト信ス何トナレハ損失ヲ原因トシテ契約ヲ取消スハ對手人ニ不正ノ利得アルカ故ナレハ若シ對手人ニ於テ相當ノ補足ヲ出ス片ハ之ヲ取消スノ理由アラサレハナリ

佛民法第一千六百八十一條ニ曰ク廢棄ノ訴ヲ許ス場合ニ於テハ獲得者ハ其辨濟シタル代價ヲ取戻シテ物件ヲ返還シ又ハ全價ノ十分ノ一ヲ引去リテ正當ナル代價ノ追補ヲ辨濟スルニ因リ不動物ヲ保有スル自由ナリトスト是レ佛法ニ於テハ損失ヲ以テ承諾ニ瑕疵ヲ及ホスモ

ト認メ之ヲ以テ通常契約取消ノ原因中ニ列シタリト雖モ其純理ニ反スルカ故ニ之レカ結果ヲ規定スルニ方リ自然ノ勢ニ制セラレ知ラス識ラス其補償名義タルノ性質ヲ認メ買主ハ其相當ナル補足ヲ出スニ於テハ其契約ノ取消ヲ拒ムヲ得ト定ムルニ至リタルナリ余ハ法理ニ基キ賣主ノ契約ヲ取消スヲ得ルハ唯補償名義ヲ以テスルニ過キスト爲ス故ニ買主相當ノ補足ヲ出スニ於テハ賣主其契約ヲ取消スヲ得サルヤ固ヨリ明カナリ或ハ曰ハン賣主ハ其給付シタル物件ノ相當ノ價ヲ受取ラサルヲ以テ異議ヲ唱フルヲ得ヘキモ爲メニ買主ヲシテ強テ其不足ヲ補償セシムルノ權ナシ何トナレハ買主或ハ其補足ヲ出スノ資力ナク或ハ之ヲ出スノ意思ナキ

ヤモ知ルヘカヲサレハナリ故ニ其義務タル物件返還ニ在リテ補償ニ在ラス唯便宜上買主ニ補足ヲ出シテ物件ヲ保有スルヲ許スヘキノミト非ナリ不正ノ利益ヲ得タルキハ之ヲ償フ是レ本則ニシテ之ニ代フルニ契約ヲ取消シ其物件ヲ返還スルヲ以テスルハ是レ一ノ便法ニ過サルナリ

尙ホ右ノ点ヲ明カニセンカ爲メ他ノ結果ヲ論スヘシ佛法ニ基キ損失ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スヤ其物件轉シテ他人ノ手ニ在ルキト雖モ尙ホ其取消ヲ爲スヲ許サルヘカラス是レ佛民法第千六百八十一條第二項ニ「第三ノ占有者ハ右ト同一ノ權利ヲ有ス但其第三ノ占有者ハ自己ノ賣主ニ對シテ担保ノ權利ヲ有スルモノトス」

トアル所以ナリ然ルニ余ノ説ニ由ルキハ其不動物轉讓シテ他人ノ手ニ在ルキハ單ニ買主ニ對シテ損害ノ賠償ヲ要ムルヲ得ルニ止マリ其物件ヲ取戻スヲ得ス而シテ之ヲ取戻スヲ得ルト爲スハ大ニ其理ニ反スルノミナラス時ニ惡弊ヲ生スルノ恐レアリ請フ左ニ之ヲ辨セン
例ヘハ甲者千圓ノ實價アル土地ヲ四百圓ニテ乙者ニ賣却シタリ此場合ニ於テハ甲者ニ選シキ損失アリテ乙者ニ不正ノ利得アルカ故ニ甲者ニ補償名義ヲ以テ其契約ヲ取消スヲ許サルヘカラスト雖モ乙者更ニ之ヲ丙者ニ千二百圓ニテ賣却シタルキハ甲者ヲシテ單ニ乙者ニ損害ノ償ヲ要メシムルノ正當ナリヤ將タ丙者ヨリ其物件ヲ取戻シ丙者ヲシテ乙者ニ損害ノ償ヲ要メシムルノ

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

正當ナリヤト問ハ、甲者ニハ多少過失ノ責ムヘキモノアリト雖モ丙者ニ其一点ノ責ムヘキモノナキカ故ニ乙者ノ資力ニ係リテ賠償ヲ要ムヘキ者ハ甲者ニシテ丙者ハ正當ニ其物件ヲ保有スルヲ得ヘシト爲サ、ルヘカラサルナリ

又佛法ニ依ルルハ切迫セル金圓ノ需用アル者故ラニ屢價ニテ其不動産ヲ賣却シ後日ニ至リ契約ノ取消ヲ要メ巧ニ無利足ノ借入金ヲ爲スノ弊ヲ生セン今余ノ説ニ基キ補償名義ヲ以テ契約ヲ取消スニ過キスト爲サン乎轉獲者ニ對シテ其取戻ヲ要ムルヲ得サルカ故ニ實際此ノ如キ危険ナル策ヲ施ス者ナカルヘシ要スルニ損失アルカ爲メ契約ヲ取消スハ不正ノ利得ニ

基クモノナレハ其性質ヤ補償名義ニ外ナラス而シテ直チニ之ヲ契約取消ノ原因ト爲スルハ往々不正ノ結果ヲ生スルカ故ニ勉メテ佛法ノ誤謬ニ倣ハサルヲ致サ、ルヘカラス

○上來損失ノ性質結果ヲ論シタリ以下步ヲ進メテ其細則ヲ論究スヘシ

不動産賣買ノ場合ニ於テハ損失アルカ爲メ補償名義ヲ以テ契約ヲ取消スヲ得ルノ法ハ私ノ契約ヲ以テ之ヲ左右スルヲ得ヘキ乎佛民法第一千六百七十四條ニ曰ク「若シ賣主カ不動産ノ代價ニ於テ十二分ノ七以上損失ヲ受ケタルルハ縱ヒ其契約ニ於テ賣買ノ廢棄ヲ認求スルノ權能ヲ明カニ拋棄シ且其剩餘ノ價額ヲ贈與スル旨ヲ申述

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

シタル時ト雖モ賣主其賣買ノ廢棄ヲ認求スルノ權利アリト是レ能ク其理ニ適シタルモノナリ何トナレハ此法ニヤ賣主ヲ保護スルモノナレハ賣買ノ際之ニ反スル契約ヲ結ビタル片其效アリト爲サン乎切迫セル金圓ノ需用アル賣主ハ買主ヨリ此約款ヲ記入スヘキノ需ヲ受ケルヤ之ヲ拒ムヲ得サルカ故ニ實際買主ハ常ニ此約款ヲ記入セシムルニ至リ其徒法ニ屬スルノ恐レアレハナリ故ニ立法官宜ク此法ニ反スルノ約ヲ結フヲ得スト定メサルヘカラス

然レモ其契約ノ效ナキハ賣買ノ際爲ス所ノモノニシテ其後ニ締結シタル所ノモノ亦其效ナシト謂フニ在ラス一旦賣買ノ約成リタル以上ハ賣主ニ於テ曲ケテ買主ノ

需ニ應セサルヘカラスサルノ情實アヲサレハ後日損失アルモ補償又ハ取消ヲ要ムヘカラスト約シタル片ハ其效アリト爲サルヘカラス

損失アルカ爲メ補足若クハ取消ヲ要ムルニハ賣主必ス損失アル旨ヲ證明セサルヘカラス

損失ノ有無ヲ知ラントスルニハ賣買契約ヲ結ビタル當時ノ物件ノ模様及ヒ其價額ニ從テ之レカ評價ヲ爲サルヘカラス是レ不動物中家屋ノ如キハ年々破損スヘキモノナレハ現時其價低キモ契約ノ當時其價貴カリシトアリ又土地ト雖モ賣買ノ當時ハ其價低キモ後日公道開ケ近傍ニ公園地ヲ設定セラレタル等ノ爲メ現時非常ニ其價ヲ増加スルトアリ又其模様前後異ナラスト雖モ不

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

動物ノ價亦時々變更スルモノナレハ正ク損失ノ有無ヲ知ラント欲セハ必ス其當時ノ摸樣及ヒ價額ニ從テ之ヲ評定セサルヘカヲサルナリ〔佛民法第千六百七十五條ヲ參看スヘシ〕而ノ之ヲ證明スルニハ評價人ヲ以テスル等佛民法第千六百七十八條ノ如キ法則ヲ定ムヘシト雖モ其補足若クハ取消ヲ要ムルハ通常ノ場合ト敢テ其法ヲ異ニスルノ理アラサレハ余ハ佛民法第千六百七十七條ノ如キ鄭重ナル法則ヲ設ルニ及ハストス佛法ノ如キ轉讓者ニ對スルモ亦之ヲ取消スヲ得ルト爲スヤ特ニ鄭重ナル法則ヲ定ムルノ故アルヘシト雖モ其然ラサル以上ハ全ク其由ナキナリ

○是レヨリ補足及ヒ取消ヲ要ムルヲ得ル期限ノ点ナ一

言スヘシ

佛民法第千六百七十六條ニ「其請求ハ賣買ノ日ヨリ起算シテ二年ヲ經過セシ後ニ於テハ最早受理スヘカヲサルモノトス」○其期限ハ結婚シタル婦ニ對シ及ヒ失踪者治産ノ禁ヲ受ケタル者並ニ賣主タル成年者ノ權利ニ依レル幼者ニ對シテ經過スルモノトス○其期限ハ買戻ノ合意ノ爲メニ約權シタル時期ノ間ト雖モ亦經過スルモノニシテ之ヲ停止ス可カラス〔トアリ期限ハ立法官其宜シキニ從テ定ムヘキモノニシテ之レカ確タル標準アルニアラスト雖モ全般ヲ通覽シ同性質ノ請求ノ爲メ特別ノ理由アルニアラスシテ前後相異ナル期限ヲ定ムルハ其當ヲ得タルモノト謂フヘカラス故ニ余ハ佛國ニ於テ此

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

期限ヲ二年ト定メタルハ其當ヲ得スト信ス何トナレハ
 佛國ニ於テ正當名義ニ因リ善意ヲ以テ不動物ヲ獲得シ
 タル者ハ十年若クハ二十年ノ期限ニ因リ期滿效ヲ得ト
 定メナカラ損失ノ場合ニ限リ二年ノ後ハ取消ヲ要求ス
 ルヲ得スト定メタレハナリ
 余ハ損失ヲ以テ契約ノ效力ヲ損スルモノト爲サス其事
 少ク異ナリト雖モ詐欺ノ場合ノ如ク補償名義ヲ以テ其
 契約ヲ取消スニ過キサレハ法律上賠償ヲ要ムルヲ得ヘ
 シト定メタル期限内ハ其契約ノ取消ヲ請求スルヲ得ル
 モノト定メサルヘカラス
 賣主ヨリ法律ノ定メタル制限外ノ損失アルトテ證明シ
 タル所ハ買主ニ於テ其補足ヲ出スカ然カサレハ其物件

ヲ返還セサルヘカラス故ニ此点ニ付キ少ク論スヘキモ
 ノアリ
 賣主ハ如何ナル額ニ至ルマテ其代價ノ補足ヲ要ムルヲ
 得ル乎法律上十分ノ五以上ノ損失アルルハ其補足ヲ要メ
 若クハ其契約ヲ取消スヲ得ルモノト定メタリト假想セ
 ンニ其損失ノ十分ノ五以下ニ達スルマテノ補足ヲ要ム
 ルヲ得ルニ過キサル乎將タ評價ニ達スルマテノ補足ヲ
 要ムルヲ得ヘキ乎偏ヘニ買主ノ利益ヲ顧ミルルハ例ヘ
 ハ評價千圓ノ不動物ヲ五百一圓ニテ買取リタルルハ其
 補足若クハ其契約ノ取消ヲ要求セラル、一ナキモノナ
 レハ若シ之ヲ四百五十圓ニ買取タルルハ補足トノ五十
 一圓ヲ出スニ過キサルヘキニ似タリ然レモ賣主ノ利益

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

ナ願ミルルハ其不動産タル評價千圓ノモノナレハ五百五十圓ヲ受ルニアテサレハ全ク損失ナシト謂フ能ハス此ノ如ク彼此其利益ヲ異ニスルカ故ニ立法官宜キニ從テ之レカ制限ヲ定メサルヘカラス余ハ評價ノ十分ノ二半ヲ減シ他ノ不足分ヲ補フヘシト定ムルヲ可トス例ヘハ評價千圓ノ不動産ヲ三百圓ニテ買取リタルルハ買主四百五十圓ヲ補足シ之ヲ四百五十圓ニ買取タルルハ三百圓ヲ補足シ其物件ヲ保有スルヲ得ヘキノ類ナリ是レ双方其半ハナ損スルモノニシテ庶幾クハ其當ヲ得ン佛民法第一千六百八十二條ニ「若シ獲得者カ前條ニ規定シタル追補ヲ供給シテ其物件ヲ保ツト撰取シタルルハ廢棄ノ請求ノ日ヨリ其追補金ノ利息ヲ負擔ス可シ○若シ

獲得者カ其物件ヲ返還シテ代金ヲ收受スルヲ撰取シタルルハ請求ノ日ヨリ果實ヲ返還スルモノトス○其獲得者ノ辨濟シタル代金ノ利息ハ右ト同一ノ請求ノ日ヨリ亦其獲得者ニ計算スヘク又其獲得者ノ毫モ菓實ヲ収取セサルルハ辨濟ノ日ヨリ之ヲ其獲得者ニ計算スヘシトアリ該法ハ損失ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スモノニシテ余ト其根底原則ヲ異ニスト雖モ該條ニ定メタル所ハ能ク其理ニ適シ余ノ説ニ由ルモ亦同様ノ法則ヲ定メサルヘカラス即チ裁判言渡ハ訴訟ノ日ニ逆リテ其效力ヲ有スルモノナレハ買主補足ヲ出スニ方テハ必ス之ニ起訴以來ノ利子ヲ附セサルヘカラス又其物件ヲ返還スル場合ニ於テハ起訴以來ノ占有ハ善意ノモノト謂フ能ハ

○買主ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

サルカ故ニ其物件ヨリ莫實ヲ収獲シタル片ハ必ス之ヲ返還セサルヘカヲサルナリ
 賣主ニ在テモ亦然リ其物件ノ取戻ヲ得タル片ハ其旨テ受取リタル代價ヲ返濟セサルヘカヲサルノミナラス亦之ニ起訴以來ノ利子ヲ添ヘサルヘカヲサルナリ
 佛法ニ依ルニ獲得者毫モ莫實ヲ收取セサル片ハ其代價ヲ拂ヒタル日ヨリノ利子ヲ添ヘサルヘカヲス是レ嚴格ニ失スルノ恐レアリ何トナレハ物件ハ之ヲ利用スル是レ其性ナレハ買主ニ於テ之ヲ利用セサリシハ是レ其怠慢ニシテ買主其責ヲ負フヘク賣主ニ之ヲ負ハシムルノ理ナケレハナリ況ヤ此ノ如クスル片ハ賣主毫モ其代價ヲ利用セサル片ハ其利子ヲ附スルニ及ハスト爲サ、ル

ヘカヲサルニ至リ實際上ノ困難少カヲサルニ於テチヤ然レモ賣主ノ所爲ニ因リ買主之ヲ利用スル能ハサリシ片例ヘハ其物件ヲ引渡サ、ル片ノ類ハ其間ノ利子ヲ添ヘシムヘキナリ

○右ノ如ク不動物賣買ハ損失アルカ爲メニ之ヲ取消スチ得ルモ佛民法第一千六百八十四條ニ定タル如ク法律ニ從ヒ裁判所ニ於テ爲シタル賣買ハ之ヲ取消シ又ハ其補足ヲ要ムルチ許スヘカヲス是レ法律ニ從ヒ裁判所ニ於テ物件ヲ賣却スル場合ニ於テハ豫メ公告ヲ爲シ當時最上ナリト看做ス價ニテ賣却スルモノナレハ概シテ損失ノ生スルチナキノミアラス此場合ニ於ケルモ亦買主ニ補足ヲ要メ若クハ其契約ノ取消ヲ要ムルチ許ス片ハ世

○賣買ノ要件ヲ論ス○承諾ヲ論ス

人ノ信用ヲ失シ投票人ノ數ヲ減スル等他ニ害ヲ生スル
ヲアレハナリ余ハ此法ヲ法律ニ從ヒ裁判所ニ於テ爲シ
タル賣買ニ限ラス總テ裁判所ニ於テ爲シタル賣買ニ及
ホスヲ可トス是レ彼此其理由ヲ同フスレハナリ

○ 第二節 目的物ヲ論ス

○凡ソ契約ハ權利義務ヲ創設シ之ヲ變更シ若クハ之ヲ
消滅セシムルヲ以テ其目的ト爲スカ故ニ契約ノ目的ハ
權利義務(以下單ニ義務ト云フ)是レ權利ト義務トハ相對
スルモノナレハナリ)ニ外ナラス而シテ其義務亦自ラ其目
的ノ爲ス所アリ即チ或ル物ヲ給付シ若クハ之ヲ給付セ
シメ又ハ或事ヲ禁止シ若クハ之ヲ禁止セシムルヲ以テ

其目的ト爲スモノナリ今此目的ナカランカ義務生セス
義務生セサランカ契約其目的ヲ欠クヘシ故ニ茲ニ此目
的ヲ論セサルヘカラス

○賣買契約ノ場合ニ於テ其目的タル義務ノ目的タルモ
ノハ物件及ヒ代價ノ二ナリ
右ノ如ク義務ノ目的物ハ契約ニ欠クヘカラサルモノニ
シテ其成立ニ須要ナル元素ナレハ存在セサル物件ニ付
キ賣買ノ契約ヲ爲シタル片ハ其契約全ク無ニ屬スヘキ
ナリ存在セサル物件ニ付キ賣買ノ契約ヲ爲ストハ惡意
ヲ以テスル場合ヲ除クノ外實際其例ナキニ似タリト雖
モ自己ノ所有物遠隔ノ地ニ在リテ結約ノ當時天災厄難
ニ因リ其既ニ滅盡シタルヲ知ラサルトナキニアラス此

○賣買ノ要件ヲ論ス○目的物ヲ論ス

等ノ場合ニ於テハ惡意ノ責ムヘキナシト雖モ結約ノ當時賣主ノ義務ノ目的タル物件存在セサルヲ以テ其義務生セス從テ其契約目的ヲ欠クカ故ニ全ク無ニ屬スルモノナリ

○結約ノ當時賣買ノ義務ノ目的タル物件一部分滅盡シアリタル片ハ如何佛民法第一千六百一條第二項ニ曰ク「又其物件ノ一部分ノミ滅盡セシ片ハ買主全ク其賣買ヲ取消シ又ハ評價人ヲシテ其價ヲ定メシメ其現存セル一部分ヲ得ント要ムルヲ自由ナリトス」トアリ是レ買主ニ選擇ノ權ヲ與フルモノニ余ハ其偏ヘニ買主ヲ保護シテ賣主ニ甚シキ損害ヲ及ホサンヲ恐ル何トナレハ賣買ノ價ハ買主其人ノ需用ニ應シテ自ラ昂低ヲ生スルモノ

ナレハ其殘存セル部分ヲ評價セシメ其價ニテ之ヲ賣ヲサルヘカラサル片ハ往々賤價ニテ物件ヲ讓渡セサルヲ得サルニ至レハナリ故ニ余ハ此場合ニ於テハ其契約全ク無ニ屬スト定ムルヲ可トス然レモ土地若クハ數多ノ家屋ノ賣買又ハ數多ノ動物ノ賣買ノ場合ニ於テ其全部ニ付キ代價ヲ定メタルニ止メス亦其各部分ニ付キ代價ヲ定メ而シテ其分割シ得ヘキ一部分滅盡シアリタル片ハ買主ニ其殘存セル部分ニ應スルノ價ヲ出シテ之ヲ得ルヲ許スヘキナリ是レ之ヲ許スモ賣主ヲ害スルノ弊ナク又買主ハ其殘存セル部分ニ付キ契約ヲ取消スヲ得ルカ故ニ爲メニ損害ヲ被ルヲアテサレハナリ

右ノ場合ニ於テ滅盡セル部分ニ關シテハ契約全ク無ニ

屬スルカ故ニ幾歲月ヲ經過スルモ其效ヲ生スルトナシト雖モ殘存セル部分ニ關シテハ其契約單ニ取消シ得ヘキニ過キサレハ取消ノ訴ノ爲メニ定メタル期限ヲ經過スルヤ契約全ク其效ヲ生スルモノナリ

右ハ確定物ニ付キ論シタルモノニシテ未確定物即チ量定物ニ至テハ實際滅盡スルトアルヘカラス何トナレハ賣主ハ特定ノ物件ヲ引渡スノ義務ヲ負フモノニアラサレハ自己所有ノ物件滅盡スルモ世間同種類ノ物アラン限リハ必ス之ヲ引渡サ、ルヘカヲサレハナリ

買主ノ義務ノ目的タル代價ニ至テハ決メ滅盡スルトナシ是レ代價ハ通用貨幣ニ成リ貨幣ハ己レ現ニ之ヲ所有セサルモ世間ニ於テハ盡クルトナキモノナレハ必ス之

ヲ支拂ハサルヘカヲサレハナリ

○以上結約ノ當時物件ノ全部又ハ幾分滅盡シタル場合ヲ論シタリ結約後物件ノ滅盡シタル場合ハ他日ニ讓リ〔第二編第三編ヲ參看スヘシ〕是レヨリ目的物アル場合ニ於テ其契約ノ成立ヲ完フスルニハ如何ナル條件ヲ具備スルヲ要スルヤノ点ヲ論スヘシ

目的物ニ二個ノ條件ヲ必要トス畫定ニシテ結約者ノ處分スルヲ得ヘキト是レナリ以下逐次之ヲ論セン

第一款 目的物畫定セルヲ要スル所以ヲ論ス

○有形体ト無形体トニ論ナク結約者ノ處分シ得ヘキ物ハ都テ義務ノ目的タルヲ得ルモ其物タル必ス畫定セル

○賣買ノ要件ヲ論ス○目的物ヲ論ス

ヲ要ス是レ其畫定セザラン乎權利者ニ於テ義務ノ執行
 ヲ要ムルヲ得ス從テ其契約成立スヘカヲサレハナリ茲
 ニ所謂畫定物トハ確定物ノ謂ニアラス其種類性質分量
 多寡等ヲ定メ後ニ之ヲ辨知スルヲ得ヘキノ標準底位ノ
 定立スルアラハ既ニ以テ足レリトス例ヘハ某ノ家屋ヲ
 賣買スルトテ約シタル片ハ其目的確定物ナルカ故ニ論
 ナシト雖モ米何石麥何升ノ賣買ヲ爲シタル片亦其契約
 成立スヘキナリ是レ確定物ニアラスト雖モ米麥タルト
 ト其石數ト定マレルカ故ニ權利者其義務ノ執行ヲ要求
 スルヲ得ヘク毫モ其契約ノ成立ヲ害セサレハナリ唯單
 ニ米麥ノ賣買ヲ約シ其石數等ヲ定示セサルモノハ其目
 的トスル所ヲ知ル能ハサルカ故ニ其契約成立スヘカヲ

ス然レモ其目的物タル必スシモ當時之ヲ明定スルヲ要
 スルモノニアラス或ハ實際ノ模樣ニ因リ其目的物ノ畫
 定セルトアリ或ハ其畫定ヲ他日ニ讓ルモ其效アルトア
 リ左ニ之ヲ辨セン

○賣主ノ義務ノ目的タル物件ニ關シテハ通常契約ノ當
 時ニ之ヲ明定セサルヘカラスト雖モ時ニ其分量ヲ定メ
 スシテ其效アルトアリ例ヘハ甲家ニ於テ毎ニ乙商ヨリ
 食用米五斗ヲ買入レ來レリ一日甲者乙者ニ米ヲ買ハン
 ト云ヒ乙者之ヲ承諾シタル片ハ其分量品位ヲ明示セス
 ト雖モ毎ニ買入ル、所ノ米五斗ニ付キ契約アリタルモ
 ノト爲スノ類ナリ
 又買主ノ義務ノ目的タル代價ニ付テハ實際豫メ之ヲ定

以サルモ其代價暗ニ畫定セルヲアルノミナラス亦之ヲ
 他日評價人ノ定ムル所ニ任スルヲ得ルモノナリ
 佛民法第千五百九十一條ニ賣買ノ價ハ賣買ヲ爲ス双方
 ノ者之ヲ定ムヘシトノ原則ヲ定メ第千五百九十二條ニ
 「然レモ双方ノ者ハ其評價ヲ他人ノ判斷ニ任スルヲ得
 ヘシ但此場合ニ於テ他人其價ヲ爲スヲ欲セス又ハ之
 ヲ爲スコト能ハサル片ハ賣買ナシトス」ト定メタリ是レ
 能ク其當ヲ得タルモノナレハ左ニ少ク此條ヲ説明スヘ
 シ
 賣買ヲ爲スニ方テハ双方ノ者明暗ニ其價ヲ定ムルモノ
 ニシテ實際評價人ノ判斷ニ任スルヲ少ナシト雖モ亦全
 ク之レナキニアラス事急速ヲ要シ結約ノ當時其價ヲ約

定スルノ暇ナキ場合ノ類ハ他日ノ評價ニ任スルヲアリ
 然レモ此場合ニ於テ其契約ヲ有效ナラシメントスルニ
 ハ必ス評價人ヲ指定セサルヘカラス是レ之ヲ指定セサ
 ル片ハ他日紛議ヲ生スヘク代價畫定シタリト謂フ能ハ
 サレハナリ
 或ハ曰ハン裁判所ニハ評價人ヲ命スルノ權アレハ他日
 評價ヲ爲サシムヘキ人ニ付キ双方ノ議協ハサル片ハ裁
 判上評價人ヲ定ムヘク豫メ其人ヲ指定セサルヲ以テ直
 チニ契約ヲ無ニ屬セシムヘカラスト實ニ裁判所ニハ評
 價人ヲ命スルノ權アリト雖モ是レ唯双方ニ於テ豫メ評
 價人ヲ指定スル能ハサル場合ニ限ルモノニシテ之ヲ本
 件ノ場合ニ適用スヘカラス立法上或ハ此法ヲ設クルヲ

得サルニアラスト雖モ其レ之ヲ許サン乎全ク代價ヲ約定セスシテ他日紛議ヲ生シタルハ裁判所ニ於テ評價人ヲ命シ相當ノ代價ヲ定ムルヲ得ルカ故ニ全ク代價ヲ約定セサルモ其契約ヲ有效ナリト定メサルハカラサルニ至リ事極点ニ走り遂ニ法理ヲ失スルノ恐レアリ故ニ豫メ評價人ヲ指定スルニアラサレハ其效ナシト定メサルハカラス

右ノ如ク豫メ評價人ヲ指定スヘキモノナリト雖モ必スシモ現ニ評價ヲ爲スヘキ人ヲ指定スルヲ要セス評價人ヲ撰定スヘキ人ヲ指定スルヲ以テ足レリトス例ヘハ誰某ノ撰定スル所ノ評價人ノ判斷ニ任スヘシ又ハ管轄裁判所ノ命スル評價人ノ判斷ニ任スヘシト約スルノ類是

レナリ

評價人又ハ之ヲ撰定スヘキ人ヲ指定シタルハ代價ヲ約定セスト雖モ其契約ノ效アルヲ前示ノ如シ然レモ其評價人ニ於テ評價スルヲ欲セス又ハ之ヲ撰定スヘキ人ニ於テ之ヲ肯セサルハ其契約成立スヘカラス其指定シタル評價人又ハ之ヲ撰定スヘキ人死去シタルハ如ク之ヲ爲ス能ハサルハ亦然リ故ニ評價人ノ判斷ニ委スル場合ニ於テハ其契約多少未必ノ條件ニ係ルモノナリ

○賣買契約ヲ結フニハ直接又ハ間接ニ其代價ヲ定ムヘキノミナラス亦眞面目ニ之ヲ定ムルニアラサレハ其效ナシ故ニ妄想上或ル價ヲ定メ賣主ニ於テ眞面目ニ之ヲ

○賣買ノ要件ヲ論ス○目的物ヲ論ス

要求スルノ意ナキ場合及ヒ其價格外不相當ニシテ結約者眞ニ賣買ヲ爲シタルニアラサルヲ明了ナル場合ニ於テハ其效ナキナリ例ヘハ甲者乙者ニ其所有ノ釘一本ヲ金千圓ニ賣買スルノ約ヲ結ヒ又甲者乙者ニ其家屋ヲ金壹錢ニテ賣買スルノ約ヲ結ヒタルルノ類ハ眞ノ賣買アリト謂フヘカラス法律ハ眞面目ノ事ヲ扱フモノニシテ此ノ如キ遊戯ニ類スル事ハ其願ル所ニアラサルナリ然レモ其結約者双方ノ意思如何ニ因リ贈與ノ效ヲ生スルヲナキニアラス

或ハ曰ハン佛國ノ如ク贈與ヲシテ或ル法式ヲ履行セシムル所ニ在テハ双方ノ意思如何ニ拘ハラズ贈與ノ效ヲ生スルヲナカルヘシ何トナレハ名ヲ賣買ニ稱リタルモ

ノナレハ必スシモ贈與ノ法式ヲ履行シタルモノニアラサレハナリト非ナリ贈與ニ法式ヲ附スルハ余ノ最モ賛成スル所ナリト雖モ之ニ法式ヲ附スルヤ人之ヲ履行セスシテ人ニ物ヲ與フルヲ得サルニアラス法律ニ從ヒ贈與ヲ爲スニハ必ス法式ヲ履行セサルヘカラスモ之ニ從ハスシテ單ニ物件ヲ人ニ惠與スルニハ佛國ニ於ケルモ亦決ノ法式ヲ履行スルニ及ハサルナリ

○上來開説シタル如ク義務ノ目的ハ單ニ畫定セルヲ要スルニ止マレハ將來ノ物ト雖モ亦以テ其目的ト爲スヲ得ヘシ即チ結約ノ當時現存セサルモ他日存在スヘキ物件ニシテ其指定シ得ヘキモノタルニ於テハ之ヲ賣買スルヲ得ヘキナリ例ヘハ將ニ土地ヨリ生スヘキ產物若ク

ハ將ニ漁獲セントスル鱗介ヲ賣買スルノ類是レナリ此
 場合ニ於テハ其多寡等不分明ナリト雖モ擅ニ人爲ヲ以
 テ増減シ得ヘキモノニアラスシテ後遂ニ能ク之ヲ知定
 シ得ヘキモノナレハ之ヲ以テ目的ト爲ス亦敢テ不可ナ
 キナリ

然レモ船舶ノ將ニ賣シ來ル貨物ノ如何ヲ知ラスシテ之
 ヲ賣買スルカ如キ賭博類似ノ所爲ハ法律ノ認ル所ニア
 ラス然ラサルモノト雖モ法律ノ禁制スル所爲ハ其效ナ
 シ此点ハ次款ニ之ヲ論スヘシ

第二款

目的物處分シ得ヘキヲ要スル所以ヲ論ス

○目的物ハ單ニ畫定セルヲ以テ足レリトセス尙ホ結約

者ノ處分シ得ヘキヲ要ス其處分シ得ヘカヲサル物ニ二
 種アリ一ハ性質上ノモノニシテ一ハ法律上ノモノナリ
 性質上處分シ得ヘカヲサル物トハ其物ノ性質上人ノ處
 分シ能ハサルモノニシテ法律上處分シ得ヘカヲサル物
 トハ其性質上人ノ處分シ能ハサルニアラスト雖モ公益
 上法律ヲ以テ其處分ヲ禁シタルモノナリ

○第一 性質上處分シ得ヘカヲサル物 性質上處分シ
 得ヘカヲサル事物トハ成作シ難キ所爲禁制シ難キ所爲
 又ハ給付シ難キ物件ヲ謂フ請フ左ニ之ヲ分説セン
 第一○存在セサル物件 曩ニ開説シタル如ク結約ノ當
 時其目的物滅盡シタルハ契約其效ナシ是レ存在セサ
 ル物ハ到底人ノ處分シ得ヘキモノニアラサレハナリ

○賣買ノ要件ヲ論ス○目的物ヲ論ス

第二〇到底人力ノ得テ及ハサル事物 凡ソ人力ノ得テ及ハサル事物ニ純然タルモノ即チ何人ト雖モ其力及ハサルモノト關係上ノモノ即チ義務者ノ力及ハサルモ他人ノ得テ及フヘキモノトニアリ其純然タルモノニ至テハ世人皆ナ以テ契約ノ目的ト爲スニ足ラサルヲ認ムルト雖モ關係上ノモノニ至テハ往々異論ヲ唱フル者アリ然レモ關係上ノモノト雖モ其義務者ノ處分シ得サルノ点ニ至テハ則チ一ナリ豈到底其力及ハサル事ヲ強ユルヲ得ンヤ或ハ赤貧者ニシテ數百金ノ物ヲ買取ルヘキノ約ヲ結ヒタル如キ場合ヲ見テ此ノ如キ說ヲ唱フルナルヘシト雖モ此ノ如キハ決ソ其力及ハサルモノニアラス或ハ他ニ金策ヲ施シテ義務ヲ盡スヲ得サルヲ必スヘ

カラサルナリ

一時義務者ニ於テ爲シ難シト雖モ他日必ス爲シ得ヘキヲ明カナルモノハ以テ契約ノ目的ト爲スヲ得然レモ其義務ニ明暗ニ期限ヲ附シタル場合ニアラサレハ其效ナシ

第三〇他人ニ屬スル確定物 確定物ヲ目的トスル賣買契約ヲ結ヒタル場合ニ於テ其物件義務者以外ノ人ニ屬スルハ其物タル性質上處分シ得ヘカラサルカ故ニ其效ナシ是レ其所有主タル者ハ自己ノ關係セサル契約ノ爲メニ拘束セラル、トナキハ勿論義務者自己ノ力及ハサル事ヲ約シタルモノナレハ爲メニ義務ヲ負フトアラサレハナリ然レモ買主ニ於テ契約ノ當時其他人ノ物件

○賣買ノ要件ヲ論ス〇目的物ヲ論ス

ナルコトヲ知ラサル片ハ賣主損害賠償ノ責ニ任セサルヘ
カラス

右ノ如ク確定物ハ現ニ自己ノ所有ニ屬スルニアラサレ
ハ之ヲ賣却スルヲ得スト雖モ量定物ハ義務者結約ノ當
時之ヲ所有セサルモ其效アリ是レ此場合ニ於テハ賣主
單ニ買主ニ對シ豫定ノ期ニ物件ヲ引渡スノ義務ヲ負フ
ニ止マリ其物件ノ所有權契約ニ因テ直チニ移轉スルモ
ノニアラサレハナリ

或問テ曰ク量定物賣買ノ場合ト雖モ其物件ヲ引渡スニ
當テハ必ス其賣主ノ所有ニ屬スルヲ要スヘシ若シ賣主
ニ於テ未タ自己ノ所有ニ屬セサル物件ヲ引渡シタル片
ハ其契約全ク無効ニ屬スヘキ乎將タ取消シ得ヘキニ過

キサル乎ト或ハ佛民法第千五百九十九條ハ他人ノ物件
ヲ引渡シタル場合ニモ亦適用スヘキモノニシテ既ニ引
渡ヲ爲スヤ確定物賣買ト同一ナレハ同法ノ如ク其契約
ヲシテ全ク無ニ屬セシムルヲ可トスト曰フ者アリ非ナ
リ佛民法第千五百九十九條ハ確定物賣買ノ場合ノモチ
指シタルモノニシテ之ヲ量定物賣買ノ場合ニ適用スル
ヲ得ス今假ニ一步ヲ讓リ佛法ノ精神ヲシテ或者ノ言フ
如クナラシムルモ余ハ決メ之ヲ取ラサルナリ何トナレ
ハ此場合ニ於テハ所有權移轉ノ一原因タル引渡完全ナ
ラサルモノニシテ爲メニ其契約ノ解除ヲ許スヲアルモ
其契約ノ成立若クハ其效力ヲ損スルコトアルヘカラサレ
ハナリ故ニ余ハ買主ニ於テ其契約ニ基キ賣主ノ所有ニ

○賣買ノ要件ヲ論ス○目的物ヲ論ス

屬スル物件ノ引渡ヲ要メ又ハ其契約ノ解除ヲ要ムルヲ
 得ルニ止マリ其契約ハ全ク無ニ屬セサルモノトス」
 右ノ如ク他人ニ屬スル確定物賣買ハ全ク無ニ屬シ他日
 賣主ニ於テ其物件ノ所有權ヲ得ル丁アルモ爲メニ契約
 其效ヲ生スル丁ナキモノナリ然レモ其契約如何ナル效
 力ヲモ生スル丁ナキモノト謂フヘカラス此点タル少ク
 他事ニ涉ルト雖モ事重要ナレハ左ニ之ヲ簡説スヘシ
 他人ニ屬スル確定物ヲ自己ノ所有トシテ賣却シタル并
 ハ賣買契約成立セサルハ勿論如何ナル契約ノ效ヲモ生
 スル丁ナシト雖モ其他人ニ屬スル丁チ明カニシテ賣買
 ノ約ヲ結ヒタル并ハ一概ニ論スルチ得ス此ノ如キハ他
 人ノ所爲チ約シタル者ニシテ他人ノ所爲ハ人ノ處分シ

得ヘカヲサルモノナレハ法律因ヨリ此種ノ契約ヲ認メ
 スト雖モ而モ所有主チメ之ヲ批准追認セシメ又ハ所有
 主ノ所爲チ保證セン丁チ約シタル并ハ賣買契約ノ效ナ
 キモ所有主チシテ之ヲ批准追認セシメ又ハ所有主ノ所
 爲チ保證スルノ約ハ其效チ有スルモノナリ而シテ人ノ契
 約チ締結スルヤ徒ラニ無要ノ手數チ爲スモノニアラサ
 レハ之ヲ解釋スルニ方テハ必スヤ其効アラシムルチ勉
 メサルヘカス故ニ單ニ他人ノ所爲チ約シタル并ト雖モ
 多クハ本人チシテ之ヲ批准追認セシムルノ約アルモノ
 ト看做スチ得ヘシ然レモ保證ノ約アリト爲スニハ他ニ
 多少其批准チ約シタルニ止マラサルノ憑徴ナカルヘカ
 ラス此点ニ付テハ尙ホ論スヘキモノ多シト雖モ事本論

○賣買ノ要件ヲ論ス○目的物ヲ論ス

外ニ渉ルヲ以テ之ヲ零ス

第四〇公共物トハ衆人之ヲ使用スルヲ得ルモ性質上決シテ人ノ所有ニ屬スヘカラサルモノナリ故ニ公共物ハ性質上處分シ得ヘカラサルモノトス

第五〇官職貴号身分自由ノ類 古昔未開ノ時ニ在テハ官職貴号身分ノ賣買アリシノミナラス又人身自由ノ賣買アリタリキ是レ全ク其理ニ反スルモノニシテ今日法律ノ許サ、ル所ナリ或ハ此種ノ物ハ法律上處分シ得ヘカラサルモノナリト曰フモ是レ唯往昔其性質ニ反シテ之ヲ處分シタルヲアルヲ見テ斯ク云フニ過キス其眞理ノ在ル所ヲ釋ヌレハ恰モ他人ノ確定物ト同ク性質上人ノ處分シ得ヘカラサルモノナリ

明治十九年十一月廿五日版權屆濟

大阪府警察本部藏版

御用印刷發賣所

大阪東區南本町四丁目拾六番地

文敬堂 梶田喜藏

書林 大阪東區備後町四丁目卅七番地

寶文軒 吉岡平助

大阪東區本町四丁目

書藉會社

全 南久寶寺町四丁目

前川善兵衛

全 本町四丁目

岡島眞七

全 備後町四丁目

梅原龜七

全 南本町三丁目

大辻增五郎

東京銀座四丁目

博間本社

全 日本橋西河岸

須原鉄二

西京三條通柳馬場

辻本尙書堂元舖

全 河原町二條下ル

六黒屋書房

賣 捌 所



外ニ渉ルヲ以テ之ヲ零ス

第四〇公共物 公共物トハ衆人之ヲ使用スルヲ得ルモ性質上決ノ人ノ所有ニ屬スヘカラサルモノナリ故ニ公共物ハ性質上處分シ得ヘカラサルモノトス

第五〇官職貴号身分自由ノ類 古昔未開ノ時ニ在テハ官職貴号身分ノ賣買アリシノミナラス又人身自由ノ賣買アリタリキ是レ全ク其理ニ反スルモノニシテ今日法律ノ許サ、ル所ナリ或ハ此種ノ物ハ法律上處分シ得ヘカラサルモノナリト曰フモ是レ唯往昔其性質ニ反シテ之ヲ處分シタルヲアルヲ見テ斯ク云フニ過キス其眞理ノ在ル所ヲ釋ヌレハ恰モ他人ノ確定物ト同ク性質上人ノ處分シ得ヘカラサルモノナリ

明治十九年十一月廿五日版權屆濟

大阪府警察本部藏版

御用印刷發賣所

大阪東區南本町四丁目拾六番地

文敬堂 梶田喜藏

書林 大阪東區備後町四丁目卅七番地

寶文軒 吉岡平助

大阪東區本町四丁目

書藉會社

全 南久寶寺町四丁目

前川善兵衛

全 本町四丁目

岡島眞七

全 備後町四丁目

梅原龜七

全 南本町三丁目

大辻增五郎

東京銀座四丁目

博聞本社

全 日本橋西河岸

須原鉄二

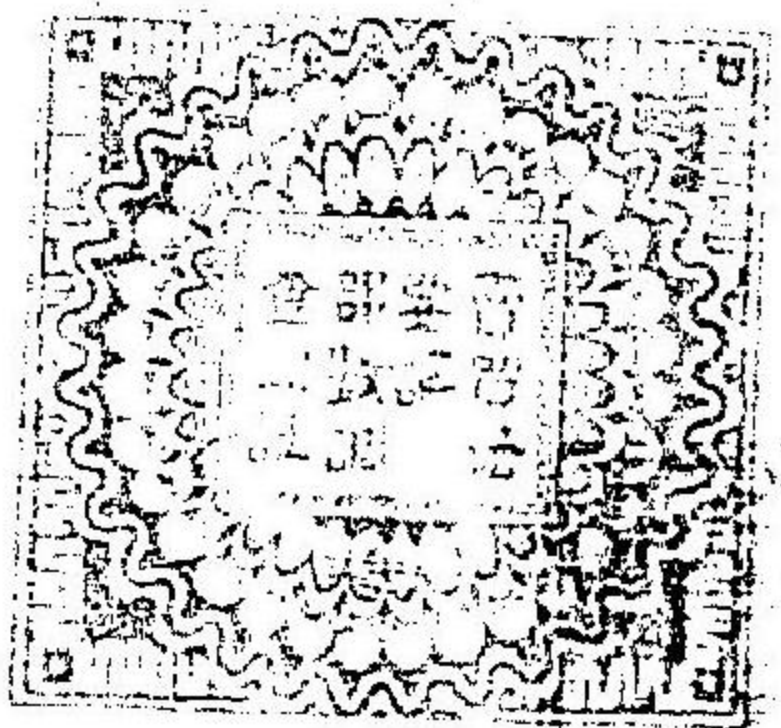
西京三條通柳馬場

辻本尙書堂元舖

全 河原町二條下ル

大黒屋書房

賣 捌 所



諸縣賣捌所

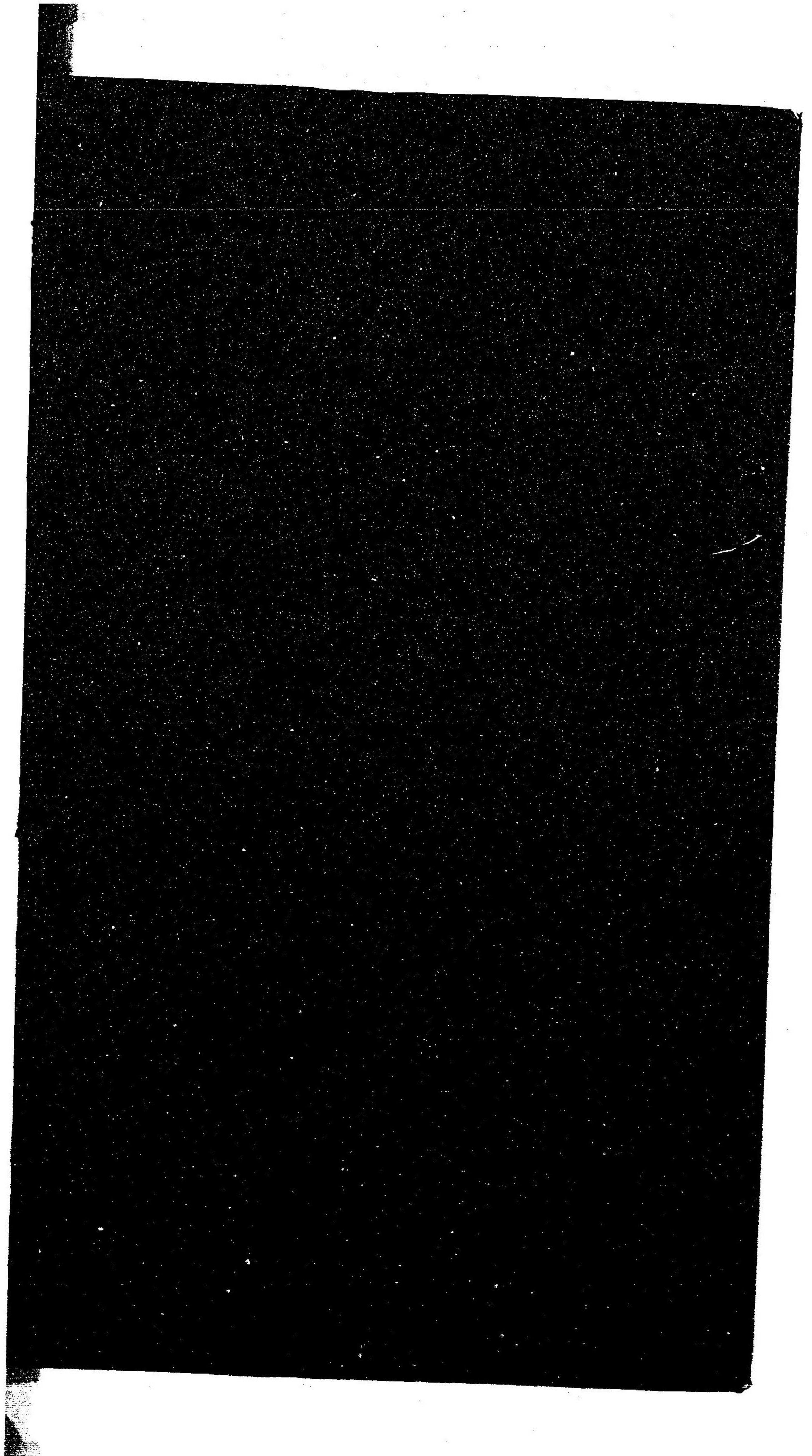
西全神全西
龍姬全神全
岡龍岡龍岡
尾岡尾岡尾
廣山廣山廣
馬山馬山馬
船馬船馬船
和船和船和
淡和淡和淡
德淡德淡德
全德全德全
高全高全高
松高松高松
西松西松西
字西字西字
高字高字高
全高全高全
福全福全福
和歌
岡知島條山松 島路山木關口島道山野路 戶京

大山山澤毛伊玉岡黑坂淡平中山宮早三大高山熊船村大
崎中本利東井田崎井路井原名川 木島尾野谷井上谷
專駒源卯新為源萬新文卯松臣速半勝武長幸政勘仁
一次 聞 兵治 兵 太兵兵
登助吉藏郎郎助助吉社助衛郎吉社衛海治平助郎衛衛

武福金靜仙山伊長名岐彦大松全鹿熊全長佐全大中久
勢 古 兒 留
生井澤岡臺田津野屋阜根津江 島本 崎賀 分津米

安岡益本伊有豐西川三新小大吉池長松鶴河八山梅菊
立崎 屋勢 住澤瀨浦 川芦田田崎尾野內風川津竹
庄左知市安文謹喜代源々儀利幸保治又常壯添正壽儀
三喜 兵 二太 兵 島三
郎助館藏衛堂郎郎助助堂平七衛輔郎造藏助作郎平平

12
13
14



25
458

035402-000-0

25-458

売買法要論

堀田 正忠 / 著

M19

BBO-0587

